

留学へのステップ

本冊子P.25～P.29参照

出発

留学の1年半以上前

留学の約1年前

留学の約10～5ヶ月前

留学の3～1ヶ月前



出発準備・出発

留学の目的を 明確化しよう!



あなたの留学目的は明確ですか?以下のチェックリストを利用して自分なりの留学計画を作り上げてください。

- なぜ今留学をする必要があるのですか?
- どんな形態(協定校・認定校・語学留学等々)で留学をしたいですか?
- どこ(国・地域・学校)に留学をしますか?
- いつ留学をしますか?
- 留学先で何を勉強するのか決まっていますか?
- 出願締切には間に合いますか?
- 必要な語学力は足りていますか?
- 家族の理解・同意は得ていますか?
- 指導教授等に留学の相談をしていますか?
- 留学経験を、どのように将来に活かすことができますか?
- 留学後就職活動をする人は、留学時期との兼ね合いについて具体的に考えていますか?
- 留学後、進学する人は、出願期間や手続について調べていますか?

留学情報
収集

学力・
語学力UP!

財政能力の
確認

TOEFL等語学能力試験受験・スコア取得

※語学能力基準が設けられている協定校へ出願する場合は、学内選考時に語学能力証明書を提出する必要があります。

協定校留学学内選考応募期間 (本冊子P.21～P.22参照)

●募集時期

●英・仏・中・独・伊・ロシア・その他:
10～11月頃(出発は翌年8～9月。
*独イエナ大学のみ翌年4月発もあり)

●オーストラリア・韓国:5～6月頃
(出発は翌年2～3月頃)



TOEFL®等受験・
スコア取得・願書請求

学内選考合格者は 協定校へ出願準備

※国際教育センターを通じて手続

〈協定校留学の場合〉

- 所定の申請書
- 成績表
- 推薦状
- 学習計画書
- 宿舍申込書

等々…



留学先大学から
入学許可証到着

所属学部教授会・
研究科委員会・
研究科教授会
から留学許可

渡航準備

- パスポート取得
- ビザ申請
- 航空券手配
- 外貨購入・送金手続
- 保険加入
- 公的手続

出願準備・出願

※大学により出願書類・出願締切が異なりますので出願する大学の指示に従ってください。

出願書類一例
成績証明書、卒業証明書、健康診断書、財政能力証明書、推薦状、エッセイ等々

8～9月出発
2～3月出発

前年10～11月下旬頃
前年5～6月下旬頃

1～4月頃
前年11～12月頃

5～7月頃
前年12月～1月頃

7～9月頃
2～3月頃

協定校留学

認定校留学

留学できる海外の大学

2011年3月現在

*大学間協定校

☆商学部学部間協定校 ★経営学部学部間協定校

○情報コミュニケーション学部学部間協定校

●文学部学部間協定校 ◆国際日本学部提携校



シェフィールド大学

●イギリス(4校)
シェフィールド大学*
カーディフ大学
カーディフビジネススクール☆
マンチェスター大学*
オックスフォード大学
ハートフォード・カレッジ◆

●ドイツ(4校)
フリードリヒ・シラー・イエナ大学*
ブレメン州立経済工科大学☆
ジーゲン大学*
ビーレフェルト大学言語学・文学部●

●フランス(14校)
ランス大学*
パリ第一大学(ルノー財団留学プログラム)*
パリ第九大学(ルノー財団留学プログラム)*
トゥールーズ第一社会科学大学*
ESCLレンヌ商科大学☆
フランス国立東洋言語文化研究学院*
リヨン第三大学*
ヴェルサイユ大学*
パリ第三大学*
プロヴァンス大学*
パリ商業高等大学マネジメント学部☆
エセム・ビジネスマネジメントスクール★
パリ・テイドロ大学*
IPAGビジネススクール★

●オーストリア(1校)
ウィーン大学*

●スウェーデン(1校)
リンシェーピング大学*

●スイス(1校)
チューリッヒ大学*

●イタリア(3校)
シエナ大学*
ヴェネツィア大学*
ミラノ大学*

●ハンガリー(1校)
エトヴェシュ・
ローランド大学*

●ポーランド(1校)
ウヅジ大学*

●ロシア(3校)
ブレハノフ経済大学*
クラスノヤルスク教育大学*
国立経営大学*★

●ルーマニア(1校)
ブカレスト大学*

●ブルガリア(1校)
ソフィア大学*

●セルビア(1校)
ベオグラード大学*

●トルコ(1校)
中東工科大学*

●南アフリカ(2校)
フォートヘア大学*
リンボボ大学*

●中国(17校)
中国人民大学*
延辺大学*
華東師範大学*
深圳大学*
中央財経大学*
アモイ大学*
上海交通大学*
遼寧大学*
内蒙古工業大学*
大連外国語学院*
雲南大学*
北京大学*
蘇州大学*
南京大学*
北京師範大学歴史学院●
香港中文大学*
中山大学国際商學院★

●ベトナム(2校)
ハノイ貿易大学*
ハノイ大学*

●マレーシア(5校)
マレーシア工科大学*
マレーシア科学大学*
マラヤ大学*
マレーシア・サラワク大学*
ベトロナス工科大学*

●シンガポール(1校)
シンガポール経営大学*

●タイ(1校)
キングモンクット
工科大学ラカバン校*

●インドネシア(1校)
バンドン工科大学*

●インド(1校)
インド科学院大学*



高麗大学

●韓国(12校)
梨花女子大学*
高麗大学*
国立忠北大学*
同徳女子大学*
仁荷大学*
大邱大学*
淑明女子大学*
慶尚大学*
全北大学人文学部○
ソウル大学経営学部★
西江大学*
大田大学*

●台湾(5校)
国立台湾大学*
中国文化大学*
国立虎尾科技大学*
国立台北大学*
国立嘉義大学*

●オーストラリア(4校)
西シドニー大学*
サンシャインコースト大学*
ニューサウスウェールズ大学*
南オーストラリア大学ビジネス学部★



オレゴン大学

●アメリカ(10校)
オレゴン大学*◆
アイオワ大学*
サザンイリノイ大学
カーボンデル校*
ニューヨーク州立大学
ニューバルツ校*◆
アラバマ大学*◆
ミズーリ州立大学*
ノースイースタン大学*
メンフィス大学*
インディアナ大学・バーデュー大学
インディアナポリス校◆
フロリダ州立大学◆

●カナダ(5校)
ヨーク大学*
アルバータ大学*
ヴィクトリア大学ビジネス学部★
モントリオール大学*
ダルハウジー大学*

●メキシコ(1校)
メキシコ国立自治大学*

※国際日本学部が独自の留学制度を実施する提携校への留学は、留学先大学の学費は自己負担となります。

はじめに

今の日本に暮らしていると、テレビやインターネットを通して世界中の情報が何でも手に入るように思えてきます。その情報量は私たちには処理できないほど多量で多彩であり、もう十分であると思われるかもしれません。しかし、実は何を選択して、何を信じればよいのか、それを批判的に読み解くことは簡単ではありません。私たちの目には、これまで生きて来た自分の世界のフィルター（枠組み）が幾重にもかかっているのです。

みなさんは大学の学びを通して、そのフィルターに気づき、物事の本質に迫ることのできる自己を築こうとしておられることと思います。しかし、メディアを通じた情報や書物を通じた情報だけでは得にくいもの、得られないものもあります。自分を実際に今とは異なる環境、異文化の場において、自分との関わりの中で、近づいてしっかりと見て、耳を傾けて聴きとり、繊細に感じ取り、それを言葉として発信し、相手とやり取りしてみて初めて理解に近づくという体験的なプロセスがとても大切です。

これからみなさんが卒業後に活躍される社会は、今よりも更に、そして遥かに国際化が進んだ世界になっていることでしょう。世界の大学生は、ヨーロッパの統合やアジアの急速な発展に伴って、留学爆発と言っても過言でないほど世界に出て学んでいます。みなさんにも、今暮らしている日本の社会、文化、言語、技術、環境をもう一度見つめなおし、同時に多様な社会に一時でも身を置いて、新しい未来の息吹を感じ取ってほしいと思います。

本学の留学制度は、そのように海外に目を開こうとするみなさんを助けるためにあります。この小冊子は、本学の海外留学制度を利用する場合はもちろんのこと、様々なシステムを活用して海外への留学を希望するみなさんのために、その内容と必要な手続きについて簡便にまとめたものです。みなさんの夢を実現させる一助となれば幸いです。

国際教育センター長

横田 雅弘
2011年4月

目次

1. 留学体験記	7
2. 本学の留学制度について	18
3. 留学に向けた計画と準備	25
4. 留学に係る学内手続きについて	30
5. 留学先への渡航準備について	32
6. 留学中のことについて	34
7. よくある質問とその回答	36
8. 本学における語学講座の紹介	45
9. 協定校紹介	47
10. 各種語学能力・適正試験について	76
11. 留学情報機関・在日外国文化機関リスト	80
12. 留学に関する学則（抜粋）	82

1

留学体験記

2009年度協定校留学者・ニューヨーク州立大学ニューパルツ校（アメリカ合衆国）

政治経済学部
政治学科
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

交換プログラムで明治大学に来ていたアメリカ人学生と交流する機会があり、初めて直接価値観の違いや文化の違いを感じ、その違いが生まれる場所に自分自身が飛び込むことで多様な価値観に対応できる人間になれるのではないかと思ったことがきっかけでした。日本にいただけでは出会えることができないような様々な考え方を持つ人の中でもまれて、自分自身の視野を広げたいと考えていました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

とにかく文章を早く読む能力が要求されると思います。毎週の課題の数はとても多く、できるだけ早く確実に文章を読み解く能力が必要です。私はリスニングが得意ですが、読解に時間がかかってしまうタイプだったので、いつも宿題を始めるための準備だけで時間が足りなくなってしまうことがほとんどでした。また、言いたいことを簡潔にわかりやすく英語でまとめる能力も、発言を求められる授業の中では必要でした。

この留学先を選んだ理由

アメリカへ行きたい、という想いは最初からありましたが、とりわけ情報や政治の中心地としてのニューヨークに魅力を感じたからです。

大学・学生の雰囲気

少人数の州立大学のため地元出身、あるいはニューヨーク郊外出身の学生が多かったと思います。雰囲気は、特定のグループでいつも一緒に行動する、という学生が多かった気がします。



寮の雰囲気

寮ごとにそれぞれのカラーが出ていました。私の寮はアスリートが集まる寮で、いつも賑やかな雰囲気でした。寮の中で交流を深めるために、ビンゴ大会やお菓子パーティーなども開催されていました。ただし、パーティー好きな学生が夜間静かになるということはほとんどなく、騒音に悩まされることもありました。

交友関係

当初は本当に友人作りに苦労しました。言葉に対する苦手意識があるからか、相手に気を使ってしまい、あまり声をかけることができませんでした。しかし、授業を中心に交流する機



会が多くなる中で、留学生である私に気を使ってくれる友達や課外活動で知り合う友人もでき、パーティーに参加したり、一緒に旅行する友人もできるようにしました。

学習内容・勉強について

政治学専攻でしたが、高学年の授業をとりすぎたためか最初は全くついていけず、毎回の授業が苦痛に感じることもありました。しかし、放課後のスタディーグループの活動に参加したり、クラスメイトに助けられるようになり、少しずつついていけるようになりました。とにかくいかにノートを細かくとっておくということが鍵になると思います。

課題・試験について

課題は無理に全部こなそうとするのではなく、できることから要点を押さえてこなしていくようにしました。レポートなど期限のあるものはもちろん期限内に終わらせることが重要ですが、日ごろから教授に要点をまとめるアドバイスをもらったりすることで効率よく速読できるようになりました。テストの際は、必ずクラスメイトと勉強する時間を設け、みんなでまとめプリントを作成したり、テストに対して共同で準備するように心がけました。このひと手間がテスト準備時間の短縮にもつながったと思います。



大学外の活動について

ニューヨークに住む日本人の会に参加したり、様々な形で活躍する日本人の方々と知り合う機会を設け、刺激を受けました。

留学を志す人へ

留学というお金と時間があれば簡単に実現できるイメージがあるかもしれませんが、思っているよりも辛いことも起こります。その辛さを乗り越えて留学生活を楽しむには、常に自分からアンテナを張って、何ができるのかを考えて行動する勇気と実行力が欠かせないと思います。一年をかけて思い切りなにかに挑戦したいという気持ちがある人は、迷う前にまず留学することをお勧めします。



2009年度協定校留学者・アイオワ大学（アメリカ合衆国）

文学部
演劇学専攻4年

留学しようと決めた理由

私は以前からアメリカ映画、スタンドアップコメディに興味がありましたが、大学入学後授業を通して学び、興味を抱いていた劇作家がアイオワ大学を卒業したことを知り、本格的に留学を志すようになりました。

実際にアメリカに渡り、文化のコンテキストやコミュニケーション方法の違いを肌で感じ、コミュニケーションの再現ともいえる演劇についてより深い理解を得たいと思い、専攻学科について現地の学生に交じって学ぶためには、語学留学ではなく交換留学をする必要があると感じました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

英語に関しては、勉強しすぎるということはないでしょうが、私は自分の学科について、日本で集中して学んでいたことが、良かった点だと思います。

日本で学んだことで築いた自分の考えは、たとえ表現方法が拙くても、クラスメイトの関心を集めました。言語に関しては不十分ですが、内容に関してはクラスメイトに負けず理解があるというのは留学生生活を充実させる自信にもつながりました。

この留学先を選んだ理由

Theatre Artが学べることと、アメリカの中では比較的治安が良いとアイオワ大学からの交換留学生に聞き、学業に専念できる環境が整っていると感じたことです。

大学・学生の雰囲気

アイオワ大学のあるアイオワシティは学園都市で、つまりはその市全体に大学の施設が民家などに交じり散らばっています。バスで校内を回ると30分以上もかかります。アイオワは一言でいえば田舎で建物は美しく、緑に囲まれているキャンパスは、のびのびと出来、大変居心地のよい空間でした。

様々な国からの学生が生活しており、異文化に対して寛容な雰囲気があったことも居心地がよかったです。

寮の雰囲気

寮に住んでいるのは1、2年生が中心なので、日本の学生にも共通するようなフレッシュな雰囲気だな、と感じていました。8階が留学生のコミュニティーに入る学生のためのフロアで、友好的な雰囲気が漂っていましたが、私自身は3階に住んでいました。

交友関係

日常英語はとにかく速く、毎日4時間ほどの授業での会話や、ネイティブのルームメイト3人との会話にはかなりの集中力が要りました。そのため私は、リラックスできる速度で英語が話せる留学生と自由時間を過ごすことが多かったです。タイ、ベトナム、韓国、台湾、中国などアジアからの留学生はなんでも話せる家族のような存在でした。問題があれば相談に乗ってくれ、私は一度もホームシックを経験することがありませんでした。帰国後も毎日スカイプで話しています。

またルームメイトも小さなことでも報告したり、話し合ったりと信頼できる存在でした。感謝祭やイースターには実家に呼ばれ、とてもよい経験が出来ました。ちなみにアイオワには日本からの留学生が極端に少なく現地で日本語を話すことはほとんどありませんでした。

学習内容・勉強について

私は演劇学で実習中心の授業を多く履修しました。なぜなら私は今

回の留学生活を通して会話力を向上させたかったからです。日本でリーディング中心の学習をしていた私にとっては大変な挑戦でしたが、毎日無我夢中で出来ることだけのことを行いました。自分の意見を言うことが重要視されるアメリカにおいては、どんなに困難があっても伝えようとする努力が不可欠だと思います。またその努力を続けていれば、教授も生徒もとても協力的です。どの教授もOffice Hourがあり、私はよく訪ねました。会話の勉強だと思って、質問がなくてももじり出して通いました。

課題・試験について

私の場合はレポートが多かったので、テスト期間中だからと言って、特別なことはありませんでしたが、グループワークは本当に骨の折れるものでした。授業で個人として返答がうまくできないことよりも、グループの一員として対等に意見が交換できないことのほうが悔しく、足を引っ張りたくないという思いから、それを埋め合わせるために、資料集めやプレゼンテーション準備などに膨大な時間を費やしました。

大学外の活動について

授業外ではゴスペルサークルに入り、それを通じたイベントに参加していました。

また、ホストファミリー（留学をサポートしてくれる方）にお世話になっていました。

これは学内ですが希望すれば、学校職員のかたと学生の方1名ずつとマッチングしていただくことができ、週一回サポートのために会ってくれます。

ある平日のスケジュール

7時：起床、8時半～9時半：ESL、9時半～10時半：学食で友人とランチ、10時半～12時半：図書館で予習、12時半～13時半：Exercise授業、13時半～17時：予習、17時～19時：授業、19時～21時：学食で友人と夕食、21時～0時：予習、0時半：就寝

ある休日のスケジュール

9時：起床、10時～13時：部屋でリラックス、13時～16時：映画を見にバスでモールに、17～23時：友人とカフェで自習、0時から3時：ルームメイトとともに徹夜の勢いでレポートを仕上げる、4時：就寝

留学を志す人へ「これを知っておいて欲しい」と思うこと

アメリカ映画を字幕なしで見たいというきっかけから志したアメリカ留学ですが、それを実現させるためにした努力や協力くださった人々、そして実際の留学先での経験、そこで出会い支えてくださった人々、すべての体験や出会いを通じて様々な新しい世界が見えてきました。そして帰国後毎日スカイプで留学先で出会った友人と英会話をし、より一層英語を勉強しています。もともと英語が得意だったわけではありませんが、真剣に努力し続けることは、結果はどうであれ、必ず自分のためになるのだと思い、諦めず挑戦したことで、留学が実現しました。そこからは一流の非ネイティブスピーカーになるという目標に向かって留学先で精一杯努力しました。そして帰国後も同じ目標に向かって日々英語を学んでいます。

もし英語力などで不安があったとしても何も考えず、努力することが大切だと思います。努力で損はしません。



2009 年度協定校留学者・アラバマ大学（アメリカ合衆国）

政治経済学部経済学科
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

最初に留学を思いついたのは、入学後に英語の勉強がしたいからでした。ただ、2年生になり、自分の研究分野を金融に決めた時に、本場であるアメリカの大学で学びたいという気持ちが強まったのが最終的なきっかけになったと思います。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

英語力はある程度高い方が楽だと思います。私はTOEFL80台で留学したので、他の人より楽だったと思います。ただ、speaking、listeningなどは、もう現地でビシバシしごかれるしかないと思います。



この留学先を選んだ理由

ビジネス学部が充実しているということと、金融に関する授業が多かったことが一番の理由です。

大学・学生の雰囲気

南部のおおらかな気候と、それに合ったおおらかな性格の人たちがいてすばしかったです。勉強するのにうってつけの施設もたくさんありました。

寮の雰囲気

階ごとに寮母みたいな院生が住んでいるのですが、その人たちが、とても面倒見がよく、いろいろイベントを開いてくれました。アジア人もアメリカ人もいろいろな国の人と仲良くなれました。

交友関係

大学が交換留学生のためのイベントを開いてくれるので、比較的最初から友達を作ることができます。それ以外は、寮の中で知り合ったり、授業などで知り合ったりしました。

学習内容・勉強について

金融専攻でしたが、金融の授業は講義形式が多かったです。友達とわいわいグループワークという感じではなくて、ひたすら自分で勉強するような孤独の戦いでした。

課題・試験について

課題の量は多いです。しかも全部英語でこなさなければいけないので、毎日徹夜です。覚悟したほうがいいのかも知れません。試験はその授業により異なりますが、レベルが高い授業は全てが論述なので、かなり勉強しないとイケません。がんばれ！

大学外の活動について

たくさんサークルはありましたが、その暇はありませんでした。ただ、週末はfootballを見てストレスを発散させていました。

ある平日のスケジュール

7時：起床、9時～12時：授業、12時～13時：昼食、14時～：課題が終わるまで勉強（その間に適当に夕食を食べる）

ある休日のスケジュール

9時：起床、12時：foot ball観覧、17時～：夕食・パーティーなど

留学を志す人へ

とにかく留学前も留学中も大変な日々になると思います。勉強面の負担、メンタル面でも正直しんどいです。でも人生ってそんなもので、大変な日々の中で悩んで、模索して、そうして成長する中で何か大切なものを得る気がします。留学したい人はこれから自分がどういう人生を歩みたいのか、どうあるべきかをしっかり考えて、頑張ってもらいたいと思います。留学することが終点じゃなくて、あくまで旅の途中だと思って、これからの人生のために、実りある時間を過ごしてほしいと思います。がんばれ！



2009 年度協定校留学者・リンシェーピン大学（スウェーデン）

経営学部
公共経営学科4年

留学しようと決めた理由

大学在学中に何か一つ大きなことをしたい、他の人とは何か違うことがしたい、と漠然と思っていました。また留学は高校生からの夢でした。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

たくさんの人の留学体験談を読み、どうすれば意義のある留学生活を送れるのかを自分なりに考えた上で、出発しました。その結果意義のある充実した留学になりました。語学に関しては、十分準備したつもりでしたが、実際に行ってみると自分の語学力のなさに驚きました。外国に行ってからすぐに必要となるのは、スピーキングとリスニングの能力だと思います。リスニング力は日本で準備できるものなので、是非力を入れてほしいです。

この留学先を選んだ理由

実はリンシェーピン大学は自分で選んだ留学先ではありませんでしたが、留学を終えた今は、この大学で本当に良かったと思っています。

大学・学生の雰囲気

森に囲まれた広大な敷地に近代的な建物が点々と並んだ、素晴らしいキャンパスです。建物の中も非常に快適で長く居ても疲れません。学生は、本気で勉強している人もいれば、あまり真面目ではない人もいます。もちろん、明治大学に比べれば真面目な人はずっと多いです。勉強も本気、パーティーも本気という感じの人が多く、みんな社交的でした。



寮の雰囲気

部屋は1人部屋ですが、キッチン・ダイニングは共同なので、さびしいということはありません。また、留学生の住む寮が一つのエリアにまとまっているので、友達と会ってパーティーやディナーするのに最適な環境でした。



交友関係

ヨーロッパ人はたいてい社交的なので、自分が勇気を出せばたくさん友達を作れます。（男性は特に）基本的に自分から話しかけないと友達にはできないので、最初は辛く恥ずかしい思いもたくさんしましたが、めげずに積極的に話しかけました。そうして次第に交友関係が広がると、留学生活も段々と楽しめるようになってきました。親友と言え



るほどの仲良い友達も何人かでき、今でも彼らとは頻りに連絡をとっています。また日本人留学生との付き合い方は、色々悩むと思います。私は、語学を磨きたかったのに加え、外国人の友達を作りたいだったので、初めは距離を置いてあまり仲良くなりすぎないようにしていました。しかし、次第に彼らとも仲良くなり、外国人を巻き込んでよく日本食ディナーをしていました。幸い、日本人も面白い人が多く、彼らとの出会いも非常に価値のあるものでした。

学習内容・勉強について

この大学、特にFaculty of Arts and Sciencesは、授業によってその厳しさや内容の充実度が大きく違ってきます。非常につまらなくてゆるい授業もあれば、課題は多いけど充実した楽しい授業もあります。もちろん、シラバスを見ただけではわからないので、友達に聞いたり授業にもぐったりして、自分の納得のいく履修をすることが大事だと思います。履修変更は簡単にできるので、妥協せず慎重に選んでみてください。

課題・試験について

私は自分の興味のある分野についての課題・試験はしっかりとやっ、あまり興味のない分野は思い切って手を抜きました。勉強は、しようと思えば日本でもできます。長いようで短い10ヶ月間、自分がここでしかできないことは何かということ、常に頭に入れながら勉強していました。

大学外の活動について

スウェーデン語の先生に誘われて、リンシェーピンの教会のプラスバンドの活動に週1回参加していました。同世代だけでなく年輩の方とも交流できたこと、学生でないスウェーデン人とも話ができたことが良い経験になりました。

また、クリスマスから年始にかけて、仲良くなったドイツ人に誘われ、家に3週間程ホームステイをさせていただきました。ほぼ毎日のように旅行やパーティーなどに行き、スウェーデンとは違った文化や人との出会いがあり、貴重な体験になりました。



留学を志す人へ

留学するかしないかで悩んでいるのなら、するべきだと思います。確かにお金も時間もかかります。でもこの10ヶ月間で得るものは、言葉では語りつくせないほど大きなものです。

また、出発する前に、最終的な目標を明確にしておくこと。そして、留学中は失敗を恐れずに勇気を出して何でも挑戦してみる。この2つがよく重要だと言われますが、私も同感です。なかなか難しいことですが、是非実行してみてください。他の誰のでもない、自分だけの留学生活を楽しんでください。

2009 年度協定校留学者・プレハーノフ経済大学（ロシア）

経営学部
経営学科
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

私はロシア・東欧企業の専門家である加藤志津子教授のゼミナールに所属し、ロシア・東欧の比較経営を学んでいました。ロシア経済に興味を持ち、楽しんで勉強する中で、ゼミナールを経由して、外務省の支援でロシアで学生交流が行われていることを知りました。これに応募し、1週間ロシアに滞在してロシアの大学生と北方領土問題や今後の日露関係について意見を交換しました。この経験からさらにロシアについて知りたいと思いいようになり、留学を志望しました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

留学が決まってからロシア語の勉強を始めたので、留学してから非常に苦労しました。英語の勉強も、日常会話だけでなく経済学や経営学を勉強する上で必要な単語を知ることが、不可欠です。日本からの留学生は他の国以上に珍しがられ、授業でもアジア代表として意見を求められることが多かったため、少なくとも日本については説明できるようにしておくべきだと思います。

この留学先を選んだ理由

ロシアについて知りたいという気持ちから留学することを決めたので、ロシアの大学である必要がありました。プレハーノフ経済大学への留学はInternational Business Schoolという留学生だけで成り立つクラスで勉強するので、英語でビジネスの勉強ができる上に、他の国への理解も深まり、幅広く学ぶことができます。

大学・学生の雰囲気

International Business Schoolはヨーロッパを中心に多くの留学生が集まっており、国ごとに異なる雰囲気を持っていると感じました。

例えばフランス人にはパーティー好きで明るい人が多く、ドイツ人には真面目な人が目立ちました。ロシア人も勉強熱心で、日本に興味を持つ学生が多いことに驚きました。



寮の雰囲気

私は寮には住んでいませんでしたが、遊びに行くと共同のキッチンでみんなで料理を作ったり、あるいは授業のグループワークの打ち合わせをしたりしていました。パーティーも飲み会のようなものから、参加するのに名前が必要な比較的しっかりしたものまで幅広くありました。

交友関係

英語を話すことに慣れていなかったので友人作りに苦労するかと思いましたが、毎日あるロシア語のクラスが少人数制だったので、すぐに仲の良い友人ができました。その友人の友人とまた友達になるという形で、友達の輪を広げていきました。下手でもとにかく英語で話すことで、相手との距離が縮まることを実感しました。



学習内容・勉強について

ロシア語を勉強してロシアについてもっと知りたいと思い留学したので、ロシア語の授業に力を入れました。週10時間以上の授業とその予習復習を徹底することで、同じクラスの友人にロシア語を教えてあげられるレベルになりました。一方で、英語による他の授業では、専門用語が理解できず苦労し、友人に説明し直してもらっていました。授業についていけないと感じた時は、教授に次回勉強する範囲を聞き、予習を徹底することで授業が聞きやすくなりました。



課題・試験について

ロシア語の宿題は毎回大量でした。家に帰ってからも予習復習に時間をかけました。しかしもっと大変だったのはグループ論文やグループプレゼンテーションです。他の国からの留学生は英語のレベルが高いので、足を引っ張りたくない一心で質の高いものを目指して取り組みました。そこで真剣に勉強したことが試験で役立つなど、頑張ったことは何一つ無駄にはならなかったと思います。

大学外の活動について

友人とロシア国内を旅して、ロシア人とコミュニケーションする場を増やしました。列車で乗り合わせた人を相手に自己紹介をしたり、道を尋ねたり、勉強したロシア語で会話することを楽しみました。また、多くの街を実際に見ることで、ロシアへの理解が深まりました。ただ授業を受けるだけでは学べないことがたくさんあります。

留学を志す人へ

限られた留学期間の中で多くのことを吸収するには、行動あるのみだと思います。留学当初は慣れないことばかりで戸惑います。しかしその状況でこそ、現状を変えようと、自分から行動を起こすことを大切にしてください。そしてその行動を楽しんでください。黙っていてももったいないですよ！

2009 年度協定校留学者・パリ第三大学（フランス）

文学部
フランス文学専攻
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

高校生の時からフランスに留学することは決めていました。フランス語と演劇の勉強がしたかったからです。また一年間を通して季節や行事などにも触れ、フランス社会の中で生活することで、フランスという国を肌で体感したかったという事もあります。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

帰国後のことを見据えて何のために留学するかという目的を持つことが重要だと思います。語学力に関しては、読解能力を高めておくことと留学生活がだいぶ楽になるかもしれません。たくさん文章を読むことでレポートを書くときにも役に立つかと思えます。

この留学先を選んだ理由

第一にフランスという国が好きだからです。そしてパリ第三大学では語学だけでなく、まさに私が勉強したい演劇が学べるという事で即座に決めました。また演劇を勉強するには実際の舞台を観ることが欠かせません。演劇のみならず、舞踊、美術、サーカスなど、様々な芸術に数多く触れるためにやはりパリがいいと思いました。

大学・学生の雰囲気

学校全体の人数は多いですが、少人数のクラスも多く、密に学べる感じです。先生も学生もとても親切でいろいろ助けてくれました。留学生も多かったのですが、留学生担当の部署は決して面倒見がいいとはいええず、あまりお世話になることはありませんでした。学生は基本的には勉強熱心な人が多かったように思います。

寮の雰囲気

寮ではパーティーも多く、交流できる活動も多く行われていました。

また、日曜日の朝は朝ごはん会があって寮の委員会の人たちが朝ごはんを用意してくれていました。時々、各国の留学生が自分の国の料理を作ってくれたり、寮主催の格安旅行も企画されたりと、寮の雰囲気としては仲が良く、住みやすかったです。



交友関係

正直学校で授業を受けているだけではなかなか友達になる機会はありません。でも、自分から声をかけたり、ノートを貸してもらったりする中で少しずつ打ち解けて行くことができました。また、グループや二人組で行う課題や一週間の集中講座を通して友達になる機会がありました。他には、日本人の友達の紹介で他大学の日本語学科の学生と知り合う機会があり、彼らと遊びに行く機会の方が、大学の友達より多かったと思います。

学習内容・勉強について

私は演劇を専攻していました。授業では積極的な取り組みが求められることが多く、大変なことも多かったのですが、先生や友達が本当によく面倒を見てくれたのでなんとか頑張ることができました。後期に入ってから語学も多少は伸び、帰ってから録音した授業を聞きなおすなどの復習を行えばなんとかついていけるようになりました。ただ、演劇は文学のように言葉のみではなく、他の視覚的・聴覚的要素も多分に重要なので助かった部分もありました。

課題・試験について

初めはレポートの書き方も分からず、私にとって課題はとても大変で、くじけそうになりましたが、友達や先生が添削してくれたり、ノートを貸してくれたり協力してくれたおかげでなんとかがんばることができました。そのがんばった分をちゃんと認めてくれて点数をくれたり、「がんばったね」と先生が褒めてくださった時はとても嬉しかったです。無事単位が取得できたときはホッとしました。

大学外の活動について

学校の部活動のようなアクティビティに参加し、コンテンポラリーダンスとアフリカダンスのクラスに出ていました。また個人的にバレエのアトリエに通ったり、INALCOの日本語の授業にボランティアとして参加したりもしていました。

留学を志す人へ

自分が一歩踏み出せば世界は変わるという事を知っておいてほしいです。自分から一言話しかける、そういう小さいことでも周りの態度も自分の心境も大きく変化します。

もちろん時にはつらいこともあります。そんな時は、引きこもらずにお気に入りの場所に出向いたり、街を散歩したりと積極的に外に出るようにしていました。けれど、本当につらい時は誰かに打ち明けることも大切だということ心に留めておいてください。

あとは自分次第、勇気を持って一歩踏み出してみてください。



2009 年度協定校留学者・ジークン大学（ドイツ）

文学部
ドイツ文学専攻
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

入学した時から留学を考えていて、現地で学ぶことによって早くドイツ語を上達させたかったからです。また、海外に長期的に住むことにより、自分の視野を広げられると思いました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

語学もできるに越したことはありませんが、語学はいくらでも現地で勉強できます。ドイツ滞在中、よく日本について聞かれます。そのため、日本のことについても話せるようにして行くといいと思います。

この留学先を選んだ理由

ドイツで、ドイツ語の勉強がしたかったからです。また、イエナ大学と比べ、日本人が少ない環境なので、日本語を使うことなく、本当にドイツ語の生活が送れると思ったからです。

大学・学生の雰囲気

学生と教授の距離が近く、実験や実習、また少人数のゼミが多いため、学生はジークン大学に対しては満足しているようです。また、ライブや映画など様々な企画も催されています。



寮の雰囲気

ドイツ人や他の国の留学生と一緒に住むことになるので、言葉を学ぶのにも、友達を作るのにもいい環境です。ただ、掃除当番などがうまく回らず、キッチン・トイレ・バスが汚いときもあります。また、パーティーがあると、夜遅くまで大音量の音楽が鳴り響いていたりすることもあります。

交友関係

パーティーなどのイベントに積極的に参加することで、様々な人に会うことができます。また、日本語のクラスに顔を出してみると、日本に興味を持っている学生と知り合い、仲良くなることもできます。そのほかにも、私はドイツに来る以前に、日独協会のイベント（Youthsumitt）に参加し友達ができただけで、その友達のところに旅行したり、その友達のもとで、ドイツ人のクリスマスやイースターを体験することもできました。

学習内容・勉強について

私は外国人向けのドイツ語の授業を履修しましたが、前期は自分のレベルよりもはるかに高いクラスにいたため、授業についていくことができず、勉強はしていたものの、その効率も悪く、正直あまり学ぶことができませんでした。後期は自分に合ったクラスを受講できたので、難なく授業についていくことができたと思っています。解らないところは、タンデムや友達に聞くなどして対応していました。

課題・試験について

課題は難しいときもありましたが、分からないときなどはタンデムや友達に手伝ってもらい何とかこなしました。試験は早めに準備することが大切です。そうすることで、余裕を持って試験に臨むことができ、結果もついてくると思います。

大学外の活動について

私は夏休みに3週間、インターンシップに参加しました。私が働いた会社は、自然の中で遊ぶ体験を通して、子供や社会人のグループを教育するプログラムを企画・運営しています。その会社の一員として、様々な活動に参加させていただきましたが、言葉の問題もあり、はじめはどのようにコミュニケーションをとっていいのかわからず苦労もしました。しかし、自分から積極的に話しかけたり、遊んだりするうちに、自然と子供にも懐かれ、楽しむことができました。つらく大変だったことのほうが多いようにも思いますが、たくさんの子供や仲間と活動することができ、精神的にもとても成長することができました。素晴らしい経験ができ、本当にやってみてよかったです。



ある平日のスケジュール

9時：起床、10～12時：図書館で勉強、13時：昼食、14～15時：タンデムや友達と雑談、16～19時：授業、20時：夕飯、21時～：予習復習または友達と会うなど、0時：就寝

ある休日のスケジュール

ノルトライン＝ヴェストファーレン州の学生は、州内のローカル線を無料で利用することができます。そのため、休日はケルンやデュッセルドルフなどの大きな町に遊びに行くことが多かったです。

留学を志す人へ

日本での常識は海外では通用しません。自分から発言し、行動していかなければ、相手にしてもらえません。それは授業に関しても、友達づくりに関しても同じです。留学を充実させる為には、積極的に自分から行動して、多くの人とかわり、色々な世界を見てみるのだと思います。そうすることで、自然と友達もでき、自分の視野も広がっていきます。また、何事に対しても、楽しもうという姿勢を持って取り組むことが大切だと思います。



2009年度協定校留学者・華東師範大学（中国）

経営学部
公共経営学科
2010年9月卒業

留学しようと決めた理由

最初は4年の前学期で就職活動を終え、4年の後期から半年間交換留学をしようと思っていましたが、就職活動を行う前に留学をしたいと考えるようになり、4年の後期から一年間交換留学をしました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

単語をできるだけたくさん覚えてから留学すれば良かったと思っています。やはり留学中は留学先でしか出来ないこと、聞き取りと会話をメインに学習すべきです。机上で単語を勉強するのは日本でもできるので、せっかく留学しているのにそれを留学先でするのはもったいないと思いました。

この留学先を選んだ理由

ちょうど上海万博が行われる時期だったので、上海に留学することを決しました。上海には協定校が他にもあったのですが、留学先を決定する面接の時に面接官の方から今の大学の推薦を受け決めました。

大学・学生の雰囲気

上海の大学で4番手と言われていて、「師範大学」の名の通り先生を育成する大学なので、根が真面目で授業や課題に真面目に取り組む生徒が多く、とても刺激的でした。

留学生の中で日本人が150名以上在籍していたので、日本人同士で固まってしまう人もいました。

市の中心部に大学が位置している割に、キャンパス内は自然が多く空気がきれいで過ごしやすい環境でした。

寮の雰囲気

寮は3つありましたが、私は一番ランクが高く、ホテルのような寮に滞在していました。一人部屋でしたので勉強をするにはとても良い環境でしたが、友達を作るには二人部屋に住んだ方が良いと思います。ただし、ルームメイトの当たり外れはあると思います。

交友関係

前期は外国人向け中国語学科で約10カ国のクラスメイトと一緒に中国語を学びました。運動会等の行事や授業後クラスメイト同士で食事に行くことなどを通して多国籍の友達が大量できました。個人的には同い年のカザフスタン人の親友ができました。

後期からは本科に転入し、私以外全員中国人という環境でした。日本のテレビドラマやアニメ、芸能人に関心を持っている子が多く、皆気軽に声をかけてくれました。日本語を勉強しているクラスメイトが授業中隣に座って、通訳してくれたり、難しい授業内容を簡単な中国語に言い換えてくれたりと助けてもらううちに、打ち解けることができました。

学習内容・勉強について

前期の対外漢語学科ではただ中国語を学ぶだけだったので、同じ漢字文化である日本人にとって読み書きの授業は問題なく比較的簡単に思えたのですが、私は会話が苦手でした。中国語は特に発音が難しいので、授業中だけでなく現地の大学生と相互学習をして発音を直してもらうなどして、会話に対する苦手意識を無くしました。

後期からは本科で経営学を学んだのですが、最初は電子辞書が手放せず、予習なしには授業を理解できず、ディスカッションでも全く発言できなかったのですが、徐々に経営学用語を覚え、授業のペースにも慣れ、授業内容を理解し自分の意見を持てるようになりました。

課題・試験について

前期の対外漢語学科では課題はあったのですが、内容は教科書に沿ったもので簡単でしたので特に苦労はしませんでした。また全ての教科において中間テストと期末テストがありました。このテストも教科書内容から出たので、比較的簡単に感じました。

後期の本科では課題がたくさん出ました。現地の学生は皆大学内の寮に住んでいたのですが私は大学外に住んでいたため、グループ課題を一人で取り組むこともありました。現地の学生と同じように課題に取り組むよりも、日本人としてどう思うかを問われることが多く、授業中急に当てられるため、課題よりも授業内容の理解が大変でした。

大学外の活動について

卓球が得意なので、現地の日本人社会人クラブと大学の近くの中国人卓球クラブと、付属中学の卓球部のコーチに卓球を教わりました。卓球しながら現地の人と交流することで、語学力の向上にも役立ったと思います。スポーツを通して得た人間関係や信頼関係を得ることができ、スポーツは国境を越えると思いました。

ある平日のスケジュール

7時：起床、8時半～12時：授業、12時～13時：昼食、13時～15時：自由時間、15時～17時：相互学習、17時～19時：相互学習相手と夕食、19時～23時：予習・復習・風呂・自由時間、0時：就寝

ある休日のスケジュール

9時起床、9時～12時：勉強・掃除・自由時間、12時～13時：昼食、13時～16時：卓球、16時～21時：卓球仲間と夕食・自由時間、21時～23時：予習・風呂・自由時間、0時：就寝

留学を志す人へ

「留学すれば語学力が伸びる。」これは間違いです。

私は日本人留学生が多い上海に留学したのですが、1年以上留学しているにも関わらず日本人同士で固まり、ろくに中国語を話せない人をたくさん見ました。

自分から中国語漬けの環境を作り出すくらいの志は必要だと思っています。

2009 年度協定校留学者・高麗大学（韓国）

文学部
アジア史専攻
2011年3月卒業

留学しようと思った理由

留学をしようという気持ちは高校生のときからありました。高校1年生の時に米国での海外研修ホームステイを経験して、家族旅行とは違う感覚を味わったのが最初のきっかけだと思います。そして自立の意味を込めての“自由”、“外に出てみたかった”という気持ちが強くありました。また、留学先もそのころから絞り、絶対に大学生活の1年間は韓国で過ごすのだと決めていました。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

語学力（英語にしる韓国語にしる）がきちんと備わっていれば受講できる科目数も多いでしょう。もちろん外国人学生枠として韓国語の授業もあり、留学中に韓国語力を伸ばした友達も多いので、最低限の韓国語を知っているだけでも留学を楽しむこともできます。これはどこも同じですが、韓国人をはじめ他国留学生はとも日本に関心があるので、日本のことを、ジャンルを問わず紹介できるような知識があればよかったと思います。

この留学先を選んだ理由

韓国には幼いころから関心や疑問があったので、本来の韓国を知りたかったのが第一の理由です。また、首都のソウルで生活してみたかったし、ソウルにある協定校では、高麗大学校（以下高麗大）が韓国でSKYと呼ばれるトップクラスの大学の一つであるのも理由のひとつです。留学を決めた時から高麗大に行きたいという意思がありました。

大学・学生の雰囲気

高麗大の第一印象は迷路でした。キャンパスが広すぎてどこに何があるのか、地下設備も素晴らしく、建物は西洋の古城を連想させるようなものがたくさんありました。学生は真面目です。真面目すぎるのもいいと思います。勉強をいつも意識し、試験前になると図書館は満席になってしまうほどです。そんな彼らですが、遊ぶ時はとことん騒ぎます。日本の早慶戦と同じ韓国の高延戦では、彼らの生き生きとした姿を見ることができました。



寮の雰囲気

寄宿舎はホテルのようです。すべてが立派すぎて文句なし。外国人専用ということもあり、韓国語が全く分からない外国人が多く、共通言語は英語でしたので、私にとっては英会話の勉強場でした。韓国にいながら国際豊かな環境で“小さな地球”という感じです。男女の交流する場は少ないけれど、寄宿舎内でいろいろなイベントがありました。寄宿舎の警備員さんは規則にとっても厳しいけれど普段はとってもやさしく、おしゃべり（もちろん韓国語）が弾みます。



交友関係

留学当初はほぼ英語で、私にとってとても刺激ある環境のなか、寄宿舎仲間やKUBAという高麗大の国際交流団体との交流を通じて友達の輪を広げていきました。自分から積極的に行動することで拙い英語でも欧米人の友達は私を受け入れてくれ、一緒に過ごす時間が多かったです。授業開始とともに共通言語が韓国語に変わり、また、日本人学生もとても多かったのでいつしか日本人学生との交流が盛んになりました。夏休みには、語学プログラムのイベントで、11人の日本人学生と一緒に日本伝統踊りのひとつ、ソーラン節を披露するなど絆が一層深くなりました。後期では、ほぼ日本人学生との交流が主となり絆について改めて考えさせられたこともありました。留学期間中に多くの人との交流を通して、コミュニケーションの大切さを改めて知りました。

学習内容・勉強について

留学生は特定の学科に属することなく、多様な授業に参加することができます。韓国語の授業のほか、私は明治大学でアジア史を専攻しているの、韓国の歴史や文化に関わる授業を中心に受講しました。

専門用語が出てくると一回では理解できなかったこともあり、挫折しかけたこともありました。しかし授業の内容を録音して復習時に聞き直してみるという工夫をしたり、受講生の協力を得てノートを見せてもらったりしました。聴講科目でも、他の受講生が私の分までプリントをコピーしてくれたり、いろいろな面で助けてもらいました。

課題・試験について

試験で大変だったという記憶があるのは1学期のときに受講していた韓国語講義でした。教養ではなく専門科目だったこともあり授業の内容も濃く、教科書の内容をすべて把握しなければならないものでした。中間審査では、まだ試験勉強方法がうまく掴めずひたすら日本語訳→日本語での理解→韓国語再訳→韓国語での理解と効率が悪かったのではと思うほど、時間をかけていました。時には睡眠時間を削ってまで勉強しなければならない時もありましたが、でもその頑張りの成果はあったと思います。

大学外の活動について

休暇を利用して、地方の村でボランティア（家庭訪問）に参加したり、元従軍慰安婦の村に行きおばあちゃんたちの引越しのお手伝いをしたこともありました。

留学を志す人へ

留学の“志”とはひとそれぞれだと思います。なので、私から「こうしたほうがいい」とか「これはだめ」ということは言いません。でも、留学が自分を成長させるモノになるのか否かは自分次第だと思います。まったく後悔なく留学を終えた人はそういないと思います。私自身やり残してきてしまった部分も多いけれど、それ以上につかんだもののほうが多いです。何事にも決して諦めず、目標をしっかりと持って夢を実現させて下さい。留学中は勉強も大切だけれど、その国の文化を味わう遊びもとても大切だと思います。



2009年度協定校留学生・国立台湾大学（台湾）

法学部法律学科
2011年3月卒業

留学しようと決めた理由

台湾からの留学生の友達がたくさんの留学生を紹介してくれたことがきっかけで、彼らが持つ日本への理解の深さを知り、台湾に対する興味、中国語に対する興味が強まったため。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

やれることはすべてやりきりました。台湾に関する本を20冊程度読み、台湾人留学生と交流を持ち文化や歴史に対する理解を深めました。この時点で留学に対する不安は一切なくなりました。言語の面では中国語の上級クラスを受講し、HSKを受験し、中華料理屋に通いつめ、店員さんに中国語を教わりました。ただ、日本でできる準備は限られています。特に中国語は発音ですべてが決まるといっても過言でないで、現地に行ってからが勝負だと思います！

この留学先を選んだ理由

きっかけは二つあります。大学一年の春休みに二泊三日で一人旅をしました。初めての海外で、その時話せた言葉は「ありがとう」「いくら?」「私は明治大学の学生です」これだけ!でも街の人みんながびっくりするほど親切でした。なぜこの人たちは見ず知らずの自分にこんなに親切にしてくれるのだろう、もっと台湾のことを知りたいと思ったのが一つのきっかけです。もう一つは法学部の夏のプログラムでオーストラリアで活躍する弁護士に会った事がきっかけです。彼との出会いで、日本人として自分にしかできない仕事は何かと考えるようになり、日本と関係が深く、知的財産の分野で注目される台湾に注目しました。

大学・学生の雰囲気

台湾大学の学生はかなり優秀です。大部分の学生が英語はもちろん他の言語にも堪能です。台湾一の、世界レベルの大学であるため、世界中から優秀な学生が集まります。80年前に帝国大学として歴史が始まったため、校舎は東京大学と非常に似ています。台湾の民主主義をリードしてきたとされる台湾大学には学問の自由、多様性を尊重するリベラルな空気が強くあります。正門から図書館へ続く椰子の道は圧巻です。



寮の雰囲気

留学生も現地の学生もほとんど寮に住むというスタイルなので、自然と友達ができます。国際性も豊かでルームメイトはアメリカ人、ロビーに行けば香港人に日本語を教えたり、韓国の留学生と焼肉を食べに行ったり。管理人さんもフレンドリーでおいしい小籠包の店を紹介してくれます。朝でも夜中でもロビーに行けば友達に会える環境で、さびしさを感じることは一度もありませんでした。



交友関係

台湾人はとにかくフレンドリーです。学校や寮の学生だけでなく、掃除のおばさんも屋台のおじさんでもセブンイレブンの店員さんでさえあいさつします。友達が友達を紹介してくれるパターンが多いので早めにMSN メッセンジャーとFACEBOOKは登録しましょう。旧正月のときには友人の家にお邪魔することもあるかもしれません。台湾のお正月を満喫してください！

学習内容・勉強について

学校の勉強のすべてが日常生活にフィードバックされます。中国語のクラスでは会話中心で先生も若いので、教科書では習わない表現や単語も学びます。専門の授業では労働法や比較法、日本時代の歴史の授業をとりました。日本に留学経験のある先生や日本語を学ぶ学生も多いので、特にゼミ形式の講義は学びやすい環境ですし、日本との比較という観点を求められることもあります。

課題・試験について

台湾の大学では期末テストに加えて期中テストなるものが存在します。テスト期間中はあいさつが「メシ食った?」から「あと何コマ?」に変わります。中国語のクラスでは1週間に2回程度小テストがありました。講義によってレポートやテスト形式はありますが、留学生でも高いレベルが要求されます。先生によっては考慮してくれる先生も。テスト前は24時間オープンな図書館が満員になります。



大学外の活動について

「食は娯楽である」これは私の友人の言葉です。台湾ではお酒を飲む習慣はほとんどありません。食費も日本の三分の一くらいです。一緒に食事に行くこと、おいしい牛肉麵の店はどこかについて熱く語る、屋台のおばちゃんと世間話をする、食事をしながら言語交換（中国語を教わって、日本語を教えたり、テレビ、音楽について話したり）すること、おいしいお好み焼き屋を知っている人はモテます（笑）台湾の食を満喫してください！

留学を志す人へ

アンテナを広げてみてください。20年後、この国の未来を担うのは私達の世代です。世界における日本のプレゼンスを知って下さい。私は台湾の友人がどうしていつもこんなに楽しそうなのだろうか、どうしてこんなに日本のことに詳しいのだろうか、ということから台湾に興味を持ち始めました。台湾に興味を持ったことで中国語を真剣に学ぶようになりました。中国語が中台関係においてどんな意味を持つのかも知りました。台湾に興味を持ったことで、日本が台湾に過去にしてきたこと、よいことも悪いことも目を向けられるようになりました。おじいちゃんやおばあちゃんにもたくさん会いました。過去に目を向けたことで未来を考えられるようになりました。台湾は国際的地位がそれほど高くありません。しかし、民主主義の華人社会である台湾で、若者は明日の世界を毎日考えています。日本がこれから中国とのビジネスを考えると台湾から学ぶべきことは多いでしょう。少し外から日本を眺めて見て下さい。ちっぽけな島国でしょうか？それとも意外と長く大きな列島がそこにあるでしょうか。

2009 年度協定校留学者・シンガポール経営大学（シンガポール）

政治経済学部経済学科
2011年3月卒業

留学しようと思った理由

大学入学前より、留学することを決めていました。これからの時代日本に留まる理由はないと思っていて、世界中からの多くの優秀な学生とともに、更なる知識追求に努めたいと考えていたからです。

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備

情報収集。明治大学からシンガポール経営大学への留学は前例がなく情報収集にとっても戸惑いました。

この留学先を選んだ理由

シンガポールは現在アジアの経済、金融セクターの中心であり、これからも更なる発展を遂げると確信しているからです。

大学・学生の雰囲気

多くの学生が起業を目指していて、学内での起業家育成の施設も充実しています。また近郊の国々（マレーシアやインドネシア）から学業優秀な学生を特別推薦枠で入学させ、卒業後3年はシンガポールで働く推薦枠があるなど、さまざまな奨学金制度があります。そのため、学生も奨学金を獲得するために一生懸命勉強をします。日本の学生のようにアルバイトをするという習慣もなく大学生中は勉学に励んでいました。

寮の雰囲気

寮はやはり友人を作るには最適な場所でした。留学生だけでなく本学生の留学生も同じ寮を利用しているので、遊びはもちろんのこと勉強もお互いに切磋琢磨して進めていきました。

交友関係

留学生のための入学式が済んだあとに、部活紹介があり、私は野球部に所属することを決めました。どうしても留学生は留学生同士で固まりがちですが、僕は本学生と一緒に時間を過ごすことに努めました。野球部の友達の友達などを紹介して頂き、日に日に交友関係は広がっていきました。



学習内容・勉強について

私は明治大学では経済学を専攻していますが、シンガポールでは金融学を中心に学習しました。将来、金融の世界に身を置きたいと考えていたからです。授業内容は最初からとても難しかったですが、本学生、同じ留学生の手を借り、24時間の図書館に籠り切りで予習復習を繰り返していたのを覚えています。

課題・試験について

私が受講したすべての科目にグループプレゼンテーションが課されていました。多くの時間を同じグループメンバーと過ごし、議論を重ねていく過程は日本の大学では得られないものではないかと考えています。

大学外の活動について

私は野球部に所属していました。練習は基本的に週に2回。他の時間もチームメンバーとともに過ごしていました。

また、他の日本人留学生とともに日本語を教える教室を非公式ではありますが週1回のペースで行っていました。平均して30人ほどの現地学生が参加していました。

留学を志す人へ

留学生活は毎日刺激に溢れています。世界中の人との出会い、新しい環境での生活。しかし、良いことばかりではありません。特に就職活動の面ですが、私は何度もの日本に残らなかったらと後悔したことも多々ありました。もしあなたが就職活動を理由に、留学をしようかしまいか悩んでいるのなら、留学することをお勧めします。なぜなら、今の時代、日本で就職するだけが選択肢ではないからです。実際に、日本からシンガポールへ留学に来た私の友人は、シンガポールで就職しました。特にこれからのアジアは、多くの就職の機会に溢れています。世界中を舞台に、世界中のビジネスマンを相手に戦う覚悟があるなら、留学することをお勧めします。



2

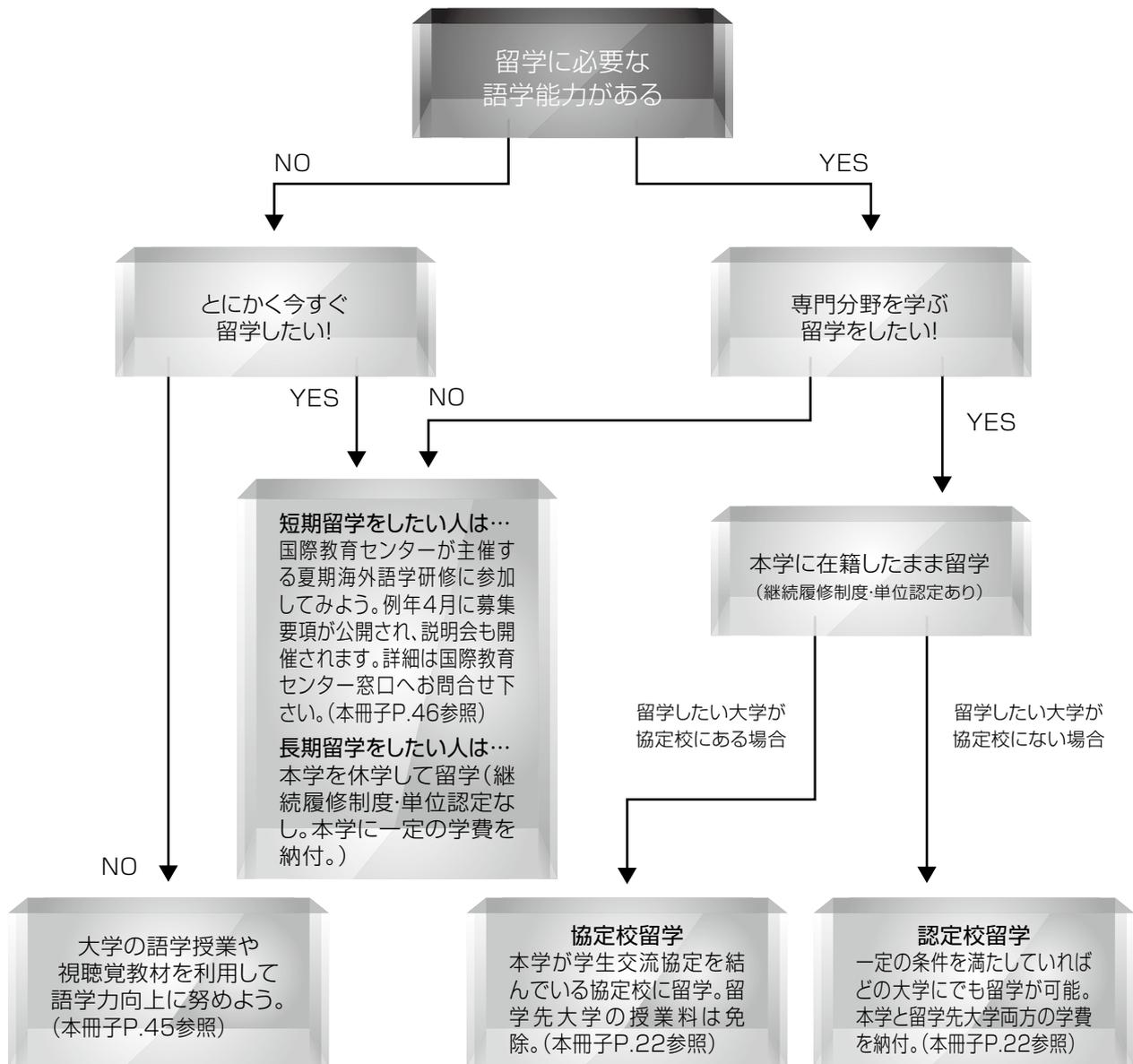
本学の留学制度について

1 明治大学における外国留学制度について

本学では、学部学生、大学院生のみなさんが本学在学中に留学を希望する場合、より留学がしやすいように留学制度を設けています。この留学制度には、協定校留学と認定校留学という二つの形態があります。

いずれも本学に在籍したまま留学ができ、また留学先で取得した単位が、一定の条件の下で本学の卒業要件単位として認定される可能性があるなどのメリットがあります。以下に制度の概略を説明しますが、取扱いはそれぞれの学部や大学院によって異なる場合がありますので、これらの制度の適用については、所属学部・研究科窓口で確認する必要があります。

また、本学の留学制度を利用しないで留学をする場合は、休学となり、在学期間に算入されず、継続履修制度、単位認定などは適用されませんので注意して下さい。



(1) 協定校留学、認定校留学の共通点

在籍したまま留学ができます

本学の留学制度を利用して留学をする場合は、休学をしないで在籍したまま留学が可能です。つまり原則として留学中の1年間は本学で1年在籍しているのと変わりません。(後述の「継続履修制度」、「単位等の認定」の項を参照して下さい。)

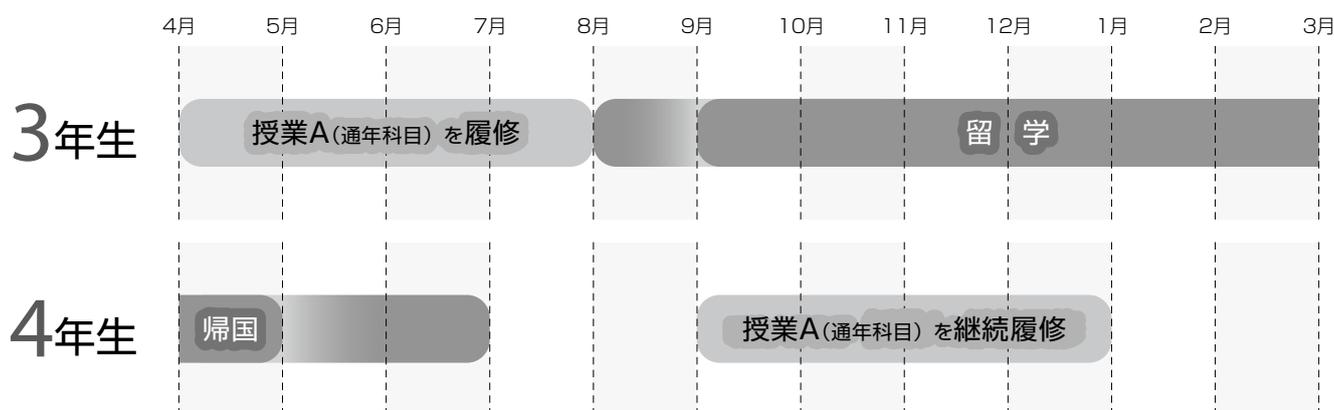
継続履修制度を適用できます

本学と留学先大学の学年暦のずれにより、本学の通年科目の履修に支障が出る場合があります。これを解消するのが継続履修制度です。

出発年度の前期と帰国年度の後期で同一科目を履修し、その履修を合わせて、1年間継続して履修したものとみなします。この制度利用により、留学期間の1年を含めて4年間で卒業できる可能性があります。ただし、そのためには、学部・研究科毎に複雑な卒業要件があるので、予め本学及び留学先での履修計画をよく検討する必要があります。継続履修願は、留学願と一緒に所属学部・研究科窓口に提出します。

学部生の場合、学部により、ゼミ・卒業論文等の取扱いが異なることがありますので、事前に所属学部で十分確認して下さい。

例) ※学部・研究科毎に異なりますので、留学前に必ず所属学部・研究科窓口に相談して下さい。



☆教職課程・社会教育主事課程・学芸員養成課程・司書課程・司書教諭課程の履修者

これら上記資格課程の設置科目は、原則として一般科目の取扱いに準じますが、教育実習の時期等の問題があります。留学を希望する場合は、資格課程事務室(アカデミーコモン8F)に履修や教員免許等の取得について、事前に相談して下さい。

留学先で取得した単位が認定される可能性があります

留学先大学で取得した単位は一定の条件のもと、原則として本学の卒業要件単位として認定される可能性があります。但し、取得した単位がすべて必ず認定されるわけではありませんので注意して下さい。

■認定される単位数：学部生は30単位まで、大学院生は10単位まで

※この単位数は本学の単位計算法によるものであり、留学先大学で修得し、表示されている単位数とは異なります。例えば留学先大学では、5単位の科目であっても、本学では2単位として認定される場合もあります。



■認定される科目の範囲：

- ①原則として所属学部・研究科設置科目に相当するもの及び関連科目で、まだ単位を取得したことの無い科目であること。例えば留学先大学で社会学という名称の科目の単位を取得したとしても、本学で既に社会学という名称の科目で単位を取得している場合は認定されません。
- ②上記に該当しない科目については、本人の留学目的、専攻などを考慮して学部・研究科において決定します。
- ③卒業論文・卒業指導は原則として認定される科目の範囲から除きます。

■単位認定の方法：

帰国したら、所属学部・研究科窓口で帰国届とともに単位認定願を受け取ります。指定された期日までに次の書類を添えて所属学部・研究科窓口に提出して下さい。

- ①留学先大学の正式な成績証明書
- ②講義要項（University Calendar、Catalog の該当講義部分）
- ③シラバス等科目の内容、講義時間数、課題や宿題などを示す資料
- ④その他所属学部・研究科が提出を求める資料

上記の資料を基に学部教授会・研究科委員会・研究科教授会が審査・認定します。また、場合により面接や筆記試験が加えられることがあります。

■単位数の換算：

留学先で修得した科目の単位数と認定を希望する本学設置科目の単位数が異なる場合、その授業時間数を計算し、本学の単位数に換算します。



学経費助成金を申請することができます

本学の留学制度を利用して留学した学生に対し、選考の上、助成金を支給します。これは返還の必要のない給付奨学金です。

〈明治大学外国留学経費助成金〉

■支給金額：協定校留学者 30 万円以内、認定校留学者 50 万円以内

■募集人員：30 名以内（予定）

■申請時期：例年6月～10月頃

■申請・支給手続：所属学部・研究科から正式な留学許可を得た後、所定の申請書を所属学部・研究科窓口に提出します。オーストラリアや韓国への留学の場合、申請期間と留学期間が重なることとなりますが、該当者は出発前に国際教育事務室に相談して下さい。

■受給者の義務：助成金受給者には帰国後に所定の留学報告書を必ず提出していただきます。報告書の提出がない場合には助成金の返還を求める場合もありますので、忘れずにご提出下さい。

〈明治大学連合父母会海外留学助成金〉

■助成金額：一人 20 万円以内

■募集人数：20 名程度

■助成対象：学部生

■申請手続：上記外国留学経費助成金に申請した学部学生が選考審査対象となります。

留 学の期間

- ① 留学期間は原則として1年間（1学年間）以内で、本学の在学期間に算入されます。1学年間とは授業が実際に行われている期間を指し、9～11ヶ月が一般的です。例えば、8～9月から欧米や中国に留学した場合の帰国時期は、通常5～7月ごろになります。なお、1学年未満の半期（1学期間）留学も可能ですが、所属学部・研究科により取扱が異なる場合がありますので、事前に所属学部・研究科とよく相談するとともに、国際教育センターにも相談して下さい。
- ② サマーセッションなどを受け、完全に1年間留学してこることも可能です。ただし本学での授業に支障をきたさない場合に限りです。
- ③ また、公的・私的機関募集の奨学金留学には、2年間留学の例があります。この場合は応募前に所属学部・研究科窓口にご相談して下さい。

(2) 協定校留学、認定校留学の違い

留 学する大学が異なります

■協定校留学の場合：

明治大学が学生交流協定を結んでいる大学（交換留学を実施している大学）に限られます。

■認定校留学の場合：以下の条件を満たしていればどこの国へも留学が可能です。

- 学部生……学士号の授与権を有する大学であること。ただし正規課程への留学のみ認めます。付属の語学学校ではなく、学部や学科に正規留学をすること。
- 大学院生…①学位の授与権を有する高等教育機関
②その他研究科委員会が特に認めた高等教育・研究機関

注 意：2年制カレッジ、コミュニティ・カレッジ、各種専門学校、日本の大学の海外分校は留学の対象機関とはなりません。

外 国語能力基準

■英語圏の協定校留学の場合：

各協定校や志望する学部・学科により大きく異なりますが、2010年度実績では少なくとも TOEFL-iBT61 点以上が必要でした。（本冊子 P.47 以降の各協定校留学出願条件も参照して下さい。）

■英語圏の認定校留学の場合：

TOEFL-iBT61 点以上を出願条件としていることが必要です。iBT61 点未満で入学可能な場合でも、本学ではこれを認定校留学として認めていません。

■英語圏以外への協定校・認定校留学の場合：

協定校は受入先大学の定める基準を満たす必要があります。中には語学能力試験の結果を求める協定校もありますが、基準の無い大学については、学内選考で審査を行います。

認定校に関しては希望大学によって異なりますので、各大学の指示に従って下さい。

学 内選考

協定校留学希望者は、学内選考に応募する必要があります。学内選考の概要は以下の通りです。志願者は必ず当該年度に掲示される募集要項で詳細を確認して下さい。



- **募集時期**：5・6月頃（オーストラリア・韓国）
10・11月頃（オーストラリア以外の英語圏、仏、独、伊、中国、ロシア、その他の語圏）
- **応募資格**：留学希望先大学の要求する語学基準、募集要項に記載される条件を満たしていること。
- **選考内容**：書類選考と面接選考があります。書類選考を通過した方には日本語と留学先言語による面接が実施されます。
- **提出書類**：
 - ① 所定の志願書類（志願書、同意書、留学計画書など）
 - ② TOEFL等の語学能力証明書…学内選考応募時に原本を提出する必要があります。
 - ③ 最新の成績通知表の写し
 - ④ その他、当該年度の募集要項に記載されている書類

2 協定校・認定校留学の相違一覧

	協定校留学	認定校留学
資 格	<p>○学部生： 1. 出発時2年次以上(出発時1年次以上) ※ただし、韓国・オーストラリア・南アフリカへの協定校留学は出発時2年次以上。 ※学部により1年次出願の取扱いが異なるため、必ず事前に所属学部にご相談すること。 ※1年次の出題を認めない協定校もある。 2. 本学での成績を選考の対象とする。在学1か年につき卒業要件単位を30単位以上修得していること。</p> <p>○大学院生： 指導教員の許可を得た者</p>	<p>○学部生： 1. 出発時2年次以上 2. 在学1か年につき卒業要件単位を30単位以上修得していること。</p> <p>○大学院生： 指導教員の許可を得た者</p>
留 学 先	本冊子P.47以降「協定校紹介」参照	<p>※自身で留学先大学を選択。</p> <p>○学部生： 学士号の授与権を有する大学</p> <p>○大学院生： 学位の授与権を有する高等教育機関または研究科委員会が特に認めた高等教育・研究機関</p>
募 集 人 員	各大学につき毎年度1～2名(協定校により異なる)	制限なし
費 用	留学先大学の授業料のみ免除(本学の学費は納付) 旅費、宿舎費、生活費などの諸経費は自己負担	全て自己負担。 本学と留学先大学の両方の学費を納付
助 成	留学経費助成制度あり (30万円以内※2010年度実績) ※学内での選考あり(本冊子P.20参照)	留学経費助成制度あり (50万円以内※2010年度実績) ※学内での選考あり(本冊子P.20参照)
手 続	所属学部・研究科に志望書類を提出→学内選考 →合格者を留学先大学へ候補者として推薦・審査 →留学先大学から入学許可を得る→所属学部・研究科の留学許可を得る→留学へ出発	自身で留学希望先の大学・高等教育機関に出願 →入学許可を取得→留学願を所属学部・研究科窓口に提出→所属学部・研究科の留学許可→留学へ出発
外 国 語 能 力	○英語圏の場合は少なくともTOEFL-iBT61点以上が必要。 ※大学・学部により、要求されるスコアが異なる。 ○その他の外国語は各協定校の定める基準に従い、適宜審査を行う。	留学希望先大学により異なる ※但し、英語圏の場合TOEFL-iBT61以上を要求する大学であること。
募 集 期 間	<p>※下記は2010年度実績。変更の可能性があるため、国際連携・留学ホームページや掲示板で確認すること。</p> <p>英 語 圏：10～11月(オセアニアは5～6月) フ ラ ンス 語 圏：10～11月(ルノー財団は別途発表) ド イ ツ 語 圏：10～11月 中 国 語 圏：10～11月 ロ シ ア：10～11月 そ の 他 の 語 圏：10～11月 韓 国 語 圏：5～6月</p>	留学希望先大学により異なる

その他の留学プログラム

ルノー財団プログラム

ルノー財団プログラムは、フランスのルノー財団と日本の13大学（本学のほか、北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大、一橋大、東工大、早大、慶大、上智大）との協定に基づき、パリの大学において約1年間留学をします。①MBAプログラム、②Mobility and Electrical Vehiclesプログラム、③Transport and Sustainable Developmentプログラムのいずれかのプログラムに応募することができ、協定校留学扱いとなります。

プログラムの詳細については、ルノー財団ホームページを参照して下さい。

【ルノー財団ホームページ】

<http://www.fondation.renault.com/>

募集期間

毎年9月頃(ルノー財団側の都合により変動する可能性有り)大学院・国際教育センターの掲示板や、ホームページに募集要項を掲示。

プログラム内容(抜粋) ※以下は2010年度実績です。次年度以降変更になることがあるため、詳細は「国際連携・留学」ホームページ及びルノー財団ホームページで確認して下さい。

① MBA プログラム	
期 間	9月から14ヶ月間：9月はオリエンテーション、フランス経済文化視察旅行、フランス語集中講座。その後派遣先大学で授業受講・研究(6ヶ月間のインターンシップを含む)
費 用	渡航費・学費・月々の奨学金、社会保険料助成はルノー財団から支給
留 学 先	パリ第一大学(パンテオン・ソルボンヌ)とパリ第九大学(ドフィーヌ)が連携し、国際マネジメント教育を行う。
応募資格	(1) 2011年4月時点で、明治大学大学院に在籍する大学院生(ただし、2011年9月1日時点で35歳未満の者)で、大学院委員会で推薦される者。専攻分野は不問。 ※ 2011年3月に卒業見込みの本学学部学生も出願できるが、大学院生が優先される。希望者は早期に国際教育事務室に相談すること。 (2) TFI550以上または同等以上のフランス語能力を有する者。 (3) TOEIC750点以上または同等以上の英語能力証明書を有する者。 (4) 3年以上の実務経験を有する者。(インターンシップを含む) (5) 研究科委員会ならびに指導教員の許可を得られる者。 (6) ルノーグループにおいてインターンシップに参加できる者。 (7) 外国籍の大学院生が出願する場合は、本学学部の卒業生であること。
② Mobility and Electrical Vehicles プログラム	
期 間	9月から15ヶ月間：9月はオリエンテーション、フランス語集中講座。その後派遣先大学で14ヶ月の授業受講・研究(7ヶ月間のインターンシップを含む)
費 用	学費・月々の奨学金、社会保険料の助成はルノー財団から支給
留 学 先	Arts et Métiers ParisTech, ENSTA ParisTech, Mines ParisTech, Ponts ParisTech
応募資格	(1) 2011年4月に、明治大学大学院に在籍する大学院生(ただし、2011年9月1日時点で35歳未満の者)で、大学院委員会で推薦される者。 ※ 2011年3月に本学学部卒業見込みの学生も出願できる。希望者は早期に国際教育事務室に相談すること。 (2) 工学または理学学士学位を取得している者。 (3) TFI550以上または同等以上のフランス語能力を有する者。 (4) 研究科委員会ならびに指導教員の許可を得られる者。 (5) ルノーグループにおいてインターンシップに参加できる者。 (6) 外国籍の大学院生が出願する場合は、本学学部の卒業生であること。



③ Transport and Sustainable Development プログラム	
期 間	9月から15ヶ月：9月はオリエンテーション、フランス語集中講座。その後派遣先大学で14ヶ月の授業受講・研究（6ヶ月間のインターンシップ含む）
費 用	学費・月々の奨学金、社会保険料の助成はルノー財団から支給
留 学 先	Ecole des Ponts ParisTech, Ecole des Mines ParisTech, Ecole Polytechnique
応募資格	(1) 2011年4月に、明治大学大学院に在籍する大学院生（ただし、2011年9月1日時点で35歳未満の者）で、大学院委員会で推薦される者。 ※ 2011年3月に本学学部卒業見込みの学生も出願できる。希望者は早期に国際教育事務室に相談すること。 (2) 工学学士学位を取得している者。 (3) TFI550以上または同等以上のフランス語能力を有する者。 (4) 研究科委員会ならびに指導教員の許可を得られる者。 (5) ルノーグループにおいてインターンシップに参加できる者。 (6) 外国籍の大学院生が出願する場合は、本学学部の卒業生であること。
選考方法	
本学内での書類選考、面接を経た者は、ルノー財団による2次審査（筆記試験及び面接）を受ける。最終的な受入決定権はルノー財団及び受入大学側にある。	
提出書類	
①所定の志願書類（志願書、同意書、留学計画書など）②その他、募集要項に記載される書類	

3

留学に向けた計画と準備

協定校・認定校留学問わず、留学には十分な準備が求められます。留学の準備は、具体的な出願手続きも含めて留学出発の約1年半以上前から始めることをお勧めします。留学に関する情報収集や各種能力試験の受験準備など、できるだけ早い時期からとりかかり、出願直前に焦ることのないようにしましょう。

STEP 1-1

明確な目的の確立

「留学したい!」と考え始めたら、まず「留学の目的を明確化」しましょう。外国への留学は、語学力の向上、国際感覚の養成、複眼的なものの見方の獲得、異文化の理解等その効果は大きい反面、肉体的・精神的な面で大きな負担がかかります。それだけに、憧れだけで留学をとらえるのではなく、

「なぜ自分は留学をしたいのか？」

「何のために留学するのか？」

「留学先で何をしたいのか？」

「留学をして将来何をしたいのか？」

というように自問自答し、自分なりの留学目的を作り上げて下さい。

留学中は、言語上の問題はもちろん、風土・習慣や文化の違いからくるストレス等様々な課題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの苦勞を克服する大きな要素であるとともに、より高い留学成果を上げるための重要な基盤であるといえます。目的をはっきりさせ、帰国後及び卒業後の将来設計についても十分検討しながら、留学計画を立てましょう。

STEP 1-2

留学情報の収集

留学に関する正確な情報を得て、それに基づき自分にあった学校を選びましょう。情報収集の際には、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心掛けてください。大学のことを知るには、各大学のホームページが重要な情報源です。提供されている授業、学内外周辺環境、宿舍の情報、おおよその生活費など、多くの情報を入手することができます。国によっては在日大使館のホームページ上で留学情報を提供している場合があります。また、指導教授等、受講している授業の先生に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続や現地の治安に関する情報収集については、在日各国大使館のホームページ、外務省が提供している海外安全情報などを参考にしてください。

STEP 1-3

留学先の選定

留学しようとする大学の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域・気候、③留学時期・期間、④大学の特徴・規模・施設及びその地域の環境・留学生数、⑤学費その他の必要経費、⑥要求される能力（成績・語学力等）などがあり、項目ごとに各大学を比較してみましょう。特に重要な点は、その大学の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学のホームページや大学案内（Catalog、Bulletin等）で、設置科目やその内容を細かく調べましょう。これは根気のいる作業ですが、大変勉強になり、またこうした過程のなかで留学に対する意欲も高揚してくることでしょう。



STEP I-4

留学時期の決定

2～3年次に留学した場合は、留学期間を含めて4年間で本学を卒業できる道が開かれていますが、4年次に留学した場合は卒業が延びるということを念頭に置かねばなりません。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案して、無理のない計画を立てることをお勧めします。

また、留学しようとする場合、日本と外国との学年暦の違いが一つの障害になります。本学では、「継続履修制度」(本冊子 P.19 参照)により、履修上のすき間が生じないよう調整することができます。所属学部・研究科にて履修制度等の確認をしっかりと行って下さい。

英語圏の多くの大学では通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。年度初めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、この時期に合わせる事が適当であると言えるでしょう。これらの国では学期毎に科目が完結するケースが多く、修得した単位数に応じて進級していくので、基本的には学期毎に入学できるシステムになっています。(留学生に対しては年度初めの入学だけに制限している場合もあります。)

韓国、オーストラリアなど地域によっては2～3月が年度初めとなり、本学の学年暦とも大きな差異がありません。このような地域へ4年次に留学した場合は4年間での卒業の可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に、単位修得の条件等を必ず所属学部・研究科に相談するとともに、就職、大学院進学など卒業後の計画を綿密に立て、準備をしておく必要があります。

STEP I-5

語学力の向上

十分な語学力があるということは、留学するための大前提です。留学先では現地の学生とともに講義を受け、授業中には頻繁に討論をします。また、予復習や宿題として日々多量の教科書や参考書を読みこなし、課されたレポートを書かなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自身の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。

語学力は一朝一夕に身につくものではありませんから、地道な勉強が必要です。本学に設置されている外国語講座や視聴覚教材を大いに利用しつつ、あらゆる機会を使って語学力を高める努力をして下さい。

また、日頃から留学先国の政治、経済、文化等について知識を深めておくことが望まれます。留学先において人々と会話をしたり、講義を理解する上でも、単に語学力のみならず言語の背景にある文化・社会全般についての幅広い知識が必要となります。

英語圏への留学の場合、通常は TOEFL を始めとする英語能力試験のスコアの提出が必須となります。また、それに加えて適正能力試験の受験を要求されることもあります。自分が出願しようとする大学が、どのテストの受験を義務付けているか、また何点以上のスコアを出願の基準としているのかを事前にホームページなどで調べ、受験プランを立てて下さい。(協定校留学希望者は、前年度の出願条件を参考にして下さい。本冊子 P.47 参照) 各種語学能力試験・適正試験については、本冊子 P.76 を参照して下さい。

STEP 1-6

学力の向上

十分な留学成果を取めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。留学先大学の入学許可の可否には、本学における成績が考慮されます。また、授業・ディスカッション・レポート等の留学中の勉強にも、それまでに蓄積された学力が大きくものをいうこととなります。さらに、海外の大学では授業中の発言や積極的な参加態度も評価対象となりますので、知識を増やすのみならず、自分の意見を持ち、発表することを日頃から心掛けましょう。

STEP 1-7

留学資金計画

学力、語学力と並んで重要なことは、留学経費をまかなうことのできる経済力です。留学費用の大きな柱は授業料と生活費（部屋代・食費等）で、このほかに往復渡航費、教材費、保険代、雑費などが加わります（協定校留学の場合は留学先大学の授業料免除。）経費は、国及び地域、大学（公立・私立の別も含む）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なりますが、安いところで1年間に約150万円、高いところでは300万円以上かかります。

留学経費の負担者が誰であっても、それを負担できる経済力を証明できないと留学先大学の入学許可及びビザが発行されないことがあります。一般的には本人や家族の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

こうしたことを念頭に、綿密な資金計画を立てて下さい。なお、本学の留学制度を利用する場合は、留学経費助成金を申請することもできます（本冊子 P.20 参照）。

留学費用の目安

アメリカ留学(オレゴン大学学部留学生の場合)

[参考URL]

<http://international.uoregon.edu/index.php/students/costs>

授業料	\$24,570
教材費(住居費含む)	\$12,606
その他雑費	\$1,260
健康保険料	\$1,047
合計	\$39,483

(2010-2011年実績)

※協定校留学の場合、授業料は免除されます。

STEP 2

留学先の資料収集
(願書請求等)

留学先大学を絞ったら、早めに直接志望校へ願書を請求します。入学希望時期の約1年前には行いましょう。

多くの場合、大学のホームページ上で願書や資料をダウンロードできるようになっています。もしダウンロードできない場合は、オンラインや手紙で請求を行います。手紙は手書きよりもパソコンで作成するのが望ましく、学歴、入学希望時期、レベル（学部か大学院か）、希望専攻分野、留学必要経費を負担する財政能力がある旨など自分自身のデータを明記し、サインをして郵送します。先方から返事がなく、期日が迫っている場合は、逐次電話等で問い合わせるようにしましょう。

※協定校留学希望者は、本学内の選考に応募する必要があります。本冊子 P.47 以降の各協定校の過去の出願条件を参照して下さい。

STEP 3

出願手続き (アメリカの場合)

願書が到着したら、書類や資料を熟読のうえ、パソコンでのタイプ、あるいは手書きブロック体で必要事項を記入し、提出を求められている各種書類を添えて、発送を追跡できる郵送方法（EMSや書留など）で志望校へ送ります。その際、紛失等のトラブルに備えて全ての書類のコピーをとっておくとともに、発送日を控えておくことが大切です。また、出願締切日を確認しておくことは当然ですが、締切間際よりも、余裕をもった提出が望ましいでしょう。

出願書類について、以下にアメリカの場合を例に説明します。**※大学によって求める書類が異なるので、各大学の指示に従って下さい。**

※協定校留学者は、学内選考に合格した後、国際教育センターを通じてこの手続きを行います。

(1) 成績証明書 (Transcript of Academic Record)

本学の英文成績証明書が必要です。高校の成績証明書を求められることもありますが、その場合は出身高校に作成をお願いして下さい。

(2) 卒業証明書 (Certificate of Graduation)

提出を求められた場合には、英文のものを用意します。

(3) 健康診断書 (Health Certificate)

所定の用紙がある場合とない場合がありますが、英文診断書を扱う医療機関で健康診断を受診し、作成してもらって下さい。診断書には医師のサインや病院の印章が必要です。

(4) 財政能力証明書 (Statement of Financial Support)

留学経費（学費・生活費等）を賄う財政能力があることを証明するもので、これがないと入学が許可されない場合があります。また、入学が許可された場合でもビザが発行されない場合があります。必要経費は、志望先大学のホームページ等におおよその見積り額が示されていることが多く、その額を負担できることを証明する必要があります。通常、銀行で英文の預金残高証明書を作成します。なお、これはビザ申請をする際にも必要になる場合があるので、余分に発行しておくとい良いでしょう。

(5) 推薦状 (Letter of Recommendation)

推薦状を誰に何通依頼するかは、志望大学の指示に従いますが、一般的に2、3通が必要とされます。自身の学習状況や人格をよく知る人物による、具体的な内容のものが望ましいので、履修中或いは過去に履修した授業の担当で、留学の相談等をしたことのある先生に作成をお願いしてみるといいでしょう。その際、推薦状に盛り込んで欲しい内容や自分のアピールポイントを伝えておくことも大切です。なお、国際教育センターでは推薦状の発行は行っていません。

(6) エッセイ (Essay)

自己紹介文のようなもので、特に志望動機、何を勉強したいのかを明記することが大切です。これまでの体験や将来の目標等にも触れながら具体的に書きましょう。審査の対象となる重要なものですから、内容はもちろん、論理構成、語句など十分に練って書いて下さい。日本語と英語では、文章の書き方のポイントが異なるので、先生に相談をしたり、市販されているエッセイ執筆のための参考書も活用することをお勧めします。エッセイが完成したら、第三者にも目を通してもらい、最後はネイティブチェックを受けるようにしましょう。

(7) 各種能力試験の証明書

TOEFLをはじめとする英語能力試験（本冊子P.76～P.79参照）、及び提出を要求されている場合は、その他の能力試験のスコアを準備して下さい。

(8) 申請手数料 (Application Fee)

多くの大学が申請手数料を要求します。クレジットカード、ドル建ての小切手、国際郵便為替等を利用して支払います。

STEP 4**入学許可証の到着**

願書を提出して2～3ヶ月後に審査の結果が通知されます。合格通知が届いたら、本当に入学したい大学かを再吟味し、速やかに希望大学へ入学意志がある旨を連絡します。入学を希望しない大学には必ず入学辞退の手紙を出すのがマナーです。(協定校留学は、学内選考合格後に出願するのは、1校のみであるためこの手続きは不要です。) 出願した大学から通知がない場合は、問い合わせましょう。合格通知と併せてビザ申請に必要な書類も含まれているので、取扱に注意して下さい。

STEP 5**その他必要な手続き**

入学許可証と一緒にあるいは前後して学生寮の申込書や健康保険の案内、オリエンテーションの案内その他の情報が送られてきます。寮に滞在する場合は、早めに申し込みを済ませましょう。先着順の場合もあるので、出願の段階で確認が必要です。入学許可証到着を待たずに寮の申込ができた、願書と同時に入寮申込書を出せる大学もあります。入学許可証到着後も申込書が送られてこなかったら、大学の Housing Office に連絡を取るようして下さい。

STEP 6**奨学金情報の収集**

奨学金は以下の通りに大別できます。

- (1) 日本政府機関によるもの
- (2) 日本の地方自治体によるもの
- (3) 外国政府機関によるもの
- (4) 日本の民間団体によるもの
- (5) 外国の民間団体によるもの
- (6) 外国の大学独自のもの

〈奨学金に関する情報の入手先〉

- 留学希望国の在日大使館及び文化機関等
- 独立行政法人日本学生支援機構
- 明治大学国際教育センター

※独立行政法人日本学生支援機構では「海外留学奨学金パンフレット」を作成しています。

パンフレット希望者は同機構まで問い合わせをしてください。(本冊子 P.80 参照)



4

留学に係る学内手続きについて

協定校留学、認定校留学制度を利用して海外留学する場合、以下に述べる一連の学内手続きが必要になります。この手続きを怠ると留学の認定、単位の認定等で問題が発生しますので、くれぐれもご注意ください。

1 所属学部・研究科へ留学願の提出

留学先大学から入学許可書を受け取ったら、次の添付書類を含む留学願を所属学部・研究科窓口に提出します。各学部・研究科によって提出書類は異なりますので、各学部・研究科窓口に確認して下さい。**所属学部・研究科の承認を以って、正式に留学決定となります。**

- (1) 留学願（所定用紙）
- (2) 留学先大学の入学・受入許可書の写し（正規課程への入学に限る。）
- (3) 履修（研究）計画書（所定用紙）
- (4) 留学先大学の便覧、講義要項またはそれに準ずるもの
- (5) 留学に係わる資金計画書（所定用紙）
- (6) 継続履修願（所定用紙）
- (7) その他学部長・研究科長が指定するもの
 - ①保証人の留学同意書（所定用紙）
 - ②語学能力証明書（英語圏の場合。英語以外の外国語については適宜学内審査を行います。）
 - ③その他学部・研究科の指定する書類

なお、上記（2）の入学許可書は、証明書のような形で出るとは限らないので、先方からの手紙・通知等をいつでも提出できるようにしておいて下さい。

2 書類の提出時期

留学時期は留学先国、その他の事情によって異なるため、留学願の提出について特に定められてはいませんが、所属学部・研究科に事前に相談をして提出するようにして下さい。夏・春期休暇にかかる場合は、その間も計算に入れて余裕をみておきましょう。但し、国によっては入学許可書の到着が遅いこともあるため、事前に各学部・研究科に相談し、入学許可書が到着次第すぐに手続きをして下さい。また、留学を考えている大学に出願した段階で、今後の手続きについて所属学部・研究科に相談することが重要です。

☆学内事務手続の流れ

- (1) 書類提出……所属学部・研究科へ必要書類を提出
- (2) 学部・研究科による審査……提出された書類により、留学の可否を教授会・研究科委員会が審査（面接を行う場合もある）
- (3) 審査結果通知……本人に留学の可否を通知
- (4) 留学指導……留学先での履修・研究指導等（継続履修願）を所属学部・研究科に提出
- (5) 「留学経費助成願」の提出……所属学部・研究科に提出（任意）
- (6) 留学へ出発

3 留学中の連絡先

- (1) **住所の連絡**・・・出発までに留学先での住所が決まらず、本学に知らせていない場合は、正確な住所が決まり次第、所属学部・研究科に連絡しましょう。留学中に住所を変更した時も同様です。履修等の連絡で必要になる場合があります。
- (2) **学習状況報告**・・・必要に応じて留学先での学習状況を所属学部・研究科、また、留学の相談をしている指導教授等に連絡しましょう。連絡方法については、留学手続の際に所属学部・研究科の指示を受けて下さい。

4 帰国後の手続き

(1) 帰国報告書の提出

帰国後、すみやかに所属学部・研究科に口頭で帰国報告をするとともに、以下の書類を受け取り、提出して下さい。

- ①帰国届
- ②単位（研究指導）認定願
- ③留学先大学の正式な成績証明書または指導教員の研究指導報告書
- ④留学先大学での履修科目の単位数、時間数、成績評価基準を示す文書・資料
(Course Description、Catalog、Bulletin、Prospectus等)
- ⑤その他単位認定の補助となる書類
- ⑥その他提出を指定された文書・資料

提出された書類を基に、留学先で修得した単位・研究指導の認定を行います。Syllabus や留学先で書いたレポートやエッセイ等、単位認定の補助となり得るものは全て保存し、持ち帰るようにして下さい。

(2) その他

就職指導、奨学金受給復活（留学による中断がある場合）、資格課程など、関連する事務室に出向き、必要な手続を済ませてください。また、留学準備のためにお世話になった関係者にも、帰国のあいさつを忘れずして下さい。

特に帰国後就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに就職キャリア支援事務室に出向き、就職活動に関わる相談をするとともに、就職の手引き等も参照するようにして下さい。

【参考】 明治大学就職キャリア支援事務室 <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/>



5

留学先への渡航準備について

1 留学先大学との連絡

留学先大学から送られてきた手紙や資料、パンフレットを熟読し、オリエンテーション等のスケジュールがわかったら、キャンパス及び周辺に慣れるためにも何日か余裕をもった渡航計画を立てます。

また、入寮可能日を把握する必要があります。入寮日以前に到着する場合は、特別に実費で寮に泊まる、大学斡旋のホームステイをする、自身でホテルを手配する等の必要があります。

また、渡航日が確定したら、フライトスケジュール（到着日、時間、到着空港、航空便名等）を留学先大学へ連絡して下さい。大学によっては、空港で出迎えをしてくれるところもあります。

2 パスポート（旅券）、ビザ（査証）の取得

(1) パスポートの取得：

パスポートを取得するには、住民登録をしている都道府県庁の旅券取扱窓口にて、必要書類を添えて申請します。通常、申請してから発給まで1週間程度（土・日・祝日・年末年始等除く）かかります。受領方法は、申請時に窓口で確認して下さい。パスポート申請については次のホームページを参考にして下さい。<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

(2) ビザ（査証）の取得：

留学ビザの取得には様々な書類の提出を求められます。留学を本格的に考え始めた時点で、留学先国の在日外国公館ホームページ等で情報を収集し、必要書類などを確認して下さい。また、大使館の査証部窓口は業務取扱時間が限られているので注意して下さい。

3 航空券の購入

航空券は旅行代理店または航空会社等で購入できます。割引運賃による航空券の場合、正規価格よりも安価な場合が多いですが、航空会社、搭乗時期、経由地、有効期間等により価格に幅があり、正規価格の航空券と異なり、払い戻し、途中立ち寄り、ルート変更等に制限があるので、購入の際は充分注意して下さい。行き先によっては、便のある曜日が限られています。特に8月等の旅行シーズンに渡航する場合は、満席になることも考えられるため早めに航空券を手配した方がいいでしょう。

4 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法は留学先やその人によって異なりますが、現金持参、クレジットカード、トラベラーズチェック、現地銀行口座を開設して日本から送金（銀行振込や小切手の送付）、キャッシュパスポート等が考えられます。現地銀行口座開設は、時間を要する場合がありますため、現地到着後口座が開設できるまで使える現金、クレジットカード、キャッシュパスポート等を持参することをお勧めします。

外 貨 現 金 … 外国為替取扱銀行で購入可能。現金を持参する場合は、高額になりすぎないように気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意。

クレジットカード … 身分証明にもなり便利。但し、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等には十分に注意する必要があります。万一紛失した際に即利用停止手続ができるよう、カード会社の緊急連絡先は常に携帯すると良い。

キ ャ ッ シ ュ … 事前に入金して利用するプリペイドタイプのカード。

パスポート … 渡航先国のATMで現地通貨を引き出すことができ、デビットカードとしても利用可能。入金した額だけ利用できるため、使いすぎや紛失の際にも安心。また額が少なくなったら、日本にいる保護者等に追加で入金してもらうことも可能。

参考：トラベレックスジャパン <http://www.cashpassport.com/1/jp/jp/>

トラベラーズ・チェック … 外国為替取扱銀行で購入可能。記載されている番号を控えておけば、紛失した場合でも発行会社に届け出ることによって再発行が可能。但し留学先地域において利用可能かを事前に調べるのが重要。利用の際にはパスポートを提示する。

5 健康状態のチェック・保険の加入

出発前に必ず健康診断等を受け、治療を要するものについては出発前に済ませるようにして下さい。日本と海外では医療費が大きく異なります。(特に歯の治療等は保険が効かない場合があります)

医療保険については、留学先大学の指定する保険(強制加入あるいは任意加入)もありますが、渡航前に、留学の期間中に適用される海外旅行傷害保険に加入しておくことを強くお勧めします。なお、協定校留学制度を利用して留学する場合は、本学指定の海外旅行保険に加入することを留学の条件としています。また本学内で行われる定期健康診断は必ず受診して下さい。

6 公的手続き

長時間日本を離れることになるので、各自治体に出向いて住民票、健康保険、国民年金等の手続きを行うようにして下さい。手続き方法については各自治体に直接問い合わせして下さい。



6

留学中のことについて

1 到着直後—留学生担当部署への連絡

到着後、直ちに留学生担当部署 (International Student Office 等) に行き、到着の報告をするとともに、留学生活に必要な指示を受ける必要があります。そのため、なるべく担当部署の開いている平日に到着することをお勧めします。担当者には、今後の留学生活のなかでも分からないことや困ったことがあれば、すぐに相談をするようにして下さい。

2 科目履修、授業等について

(1) 履修科目の登録

大学によっては、科目選択や学習上の助言、指導をしてくれる Academic Adviser がいます。現地で配布されるコース案内やコーススケジュール表を基に Adviser と相談しながら履修科目を決めることとなります。

履修登録方法、履修費用等については、オリエンテーション期間中に案内されますが、不明な点は Academic Adviser や International Student Adviser に質問して下さい。

なお、大学への出願書類を作成する際に、履修希望科目を記入する場合もあり、この内容によって履修科目が渡航前に決定されている場合もあります。

(2) 授業形態

最初の講義の際、担当教員よりシラバスという授業進行計画表が渡されることが一般的で、ここには講義の内容、教科書・参考書の案内、試験方法、レポート、成績評価の基準等が記されており、それに従って学習スケジュールを立てることとなります。

講義は通常、教室内での討論や質疑応答を交えて進められることが多く、学生が十分予習して授業に臨むことが前提となります。そのため、予習として大量の課題図書・参考図書を読んでおくこと (Reading Assignment) が求められます。

リーディング以外にもレポートやエッセイの提出が学期中数回課されることがあり、試験も中間試験、期末試験に加えて小テストが適宜課されます。成績の評価方法も各国・大学により異なるので、大学のホームページなどを読み、よく理解しておきましょう。

〈授業に向けての準備〉

次の点に留意して留学前から準備することをお勧めします。

- ①読解の訓練。留学生にとって、外国語で書かれた教科書・参考書を読みこなすことは最大の難関です。日頃から様々な文章に触れて、多読を積み重ねてください。最初はインターネットなどに載っている短い文章から始め、徐々に長い文章を読んでいくのも一つの方法でしょう。
- ②専攻に関する参考書を日本語および留学先言語で幅広く読み、少しでも多くの知識をつけておく必要があります。
- ③留学先国の言語によって、レポート、論文の書き方などには様々なルールがあります。レポートの書き方を記した参考図書を利用し、知識を得てください。ルールに則って書いているかどうか、成績に反映されます。
- ④パソコンを活用できることは必須です。メールはもちろんのこと、レポートやエッセイは通常タイプで提出しなくてはなりません。

(3) 図書館の利用

留学中は、図書館中心の生活になるといっても過言ではありません。図書館を上手に使いこなすことは留学を成功させる秘訣の1つです。年度初めのオリエンテーション期間中に図書館利用案内があることが多いので、出席するとともに実際に足を運んで利用に慣れましょう。

3 健康維持と危機管理について

(1) 健康維持

留学を成功させるには、心と体の健康が第一条件です。食事や生活様式の違いから体調を崩してしまうと、せっかく希望に満ちて始まった留学生活が台無しになってしまいます。日本とは全く違う環境において生活をするのですから、日本にいるとき以上に体調管理には留意しましょう。

長期にわたって海外で生活する場合、カルチャーショックやホームシックに悩んだり、外国語での厳しい勉強を目の当たりにして強いストレスを感じたりすることがあるかも知れません。こうした反応は誰にでも起こりうることです。

そうした場合には、趣味やリラクスの時間を積極的に作ったり、スポーツで汗を流したりするなどして工夫をしてみましょう。悩みが解決しない場合は自分ひとりで抱え込まず、早めに留学先の担当者や、家族・友人に相談することが大切です。

(2) 危機管理

留学生活に慣れて気が緩むと、事故や事件に巻き込まれる可能性が高くなります。キャンパス内においても事件は起こり得ます。寮等での貴重品の管理には常に注意すると共に、図書館で勉強して帰りが遅くなる場合も、一人で夜道を歩くような行為は絶対に避けましょう。また、テロや自然災害、感染症は本人の注意に関係なく起こります。留学直後に限らず、留学中は常に危機管理意識を持って生活して下さい。留学先の治安や医療事情の最新情報は外務省のホームページで確認することができます。

①外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

②外務省ホームページ 世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>



7

よくある質問とその回答

協定校留学・認定校留学についてよくある質問と回答がまとめられています。疑問に感じるがあれば、まずはこのページを読んでみましょう。

留学全般について

Q1 留学にはどのような種類がありますか？

A1 明治大学で取扱がある留学制度は次の3種類です。(本冊子 P.18 「本学の留学制度について」参照)

■長期の留学（1学期間あるいは1学年間）

①協定校留学：本学が学生交流協定を結んでいる外国の大学へ学内選考を経て留学する。

②認定校留学：ご自身で留学先を選んで出願手続きをし、本学の許可を受けて留学する。

※いずれも語学を学ぶことが主目的の留学ではなく、大学の正規課程に在籍し、専門分野を学ぶための留学制度です。

■短期の留学（夏期・春期の長期休業期間中の約1ヶ月）

③短期海外語学研修：本学国際教育センターが主催するプログラム。2010年度は夏期に英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語を、春期に英語・朝鮮語を実施。

※短期海外語学研修は、語学力向上を主目的としたプログラムです。

※学部独自の留学制度がある場合は、各学部に詳細をお問い合わせ下さい。

上記の制度を利用しない場合、個人で直接語学学校に申し込んだり、外部団体が主催する留学プログラムに参加したりする方法が考えられます。本学が学校や外部団体を紹介することはありませんので、日本学生支援機構の留学情報ページや、書店で販売されている留学関連書籍を参考に情報を集め、様々なプログラムを比較検討して下さい。また、長期の留学（1学期あるいは1学年間）で協定校留学・認定校留学制度を利用しない場合は、休学扱いとなりますので注意して下さい。

Q2 留学するには何から始めれば良いですか？

A2 まずは留学目的をはっきりさせましょう。本冊子1ページ目の留学ロードマップにあるチェックリスト等を利用して自分なりの留学計画を立てて下さい。各国大使館ホームページ、留学体験者報告書、留学関連情報誌などを参考に、留学に関する情報収集を積極的に行っていくうちに、最初は漠然としていた目的もだんだんと明確になってくるはずです。

また、大学の正規課程に留学をする場合には、現地の学生と同等に授業に参加できる語学能力が求められます。語学力向上は一朝一夕に実現できるものではないので、留学を思い立った時点から準備を始めましょう。

留学形態が決定し、計画も具体化したら、協定校留学希望者は学内選考に向けて準備を、認定校留学、語学留学等その他の留学の場合は、各機関が指定する手続きを経て準備をして下さい。

Q3 語学留学はできますか？

A3 協定校留学・認定校留学は、語学を学ぶことを主目的とした制度ではありません。皆さんが本学で学んでいる専門分野を学ぶために留学します。語学を学びたい場合は、国際教育センターが実施する夏期または春期約1ヶ月間の短期語学研修プログラムを活用して下さい。

詳細は「国際連携・留学」ホームページ (<http://www.meiji.ac.jp/cip/shorttermstudy/index.html>) をご覧下さい。

Q4 留学先大学の情報はどこで入手できますか？

A4 最新情報は各大学のホームページから入手しましょう。提供されている授業、留学に係る費用見積もり等様々な情報を得ることができます。また、留学先国・地域の情報、留学全般の情報収集には、各国大使館ホームページや日本学生支援機構のホームページを活用しましょう。過去に協定校留学をした人の体験記も参考にして下さい。

Q5 留学すると、就職活動に間に合いませんか？ 今までの留学経験者は就職活動をどのようにしていますか？

A5 留学出発時期が8～9月で、一学年間留学してくる場合、帰国は翌年の5～7月となるのが一般的です。3年生の8～9月に留学を開始し、帰国後すぐに就職活動を行うことを考えている人は、留学出発前に、自分が希望する業界・会社がいつ採用活動を行うかを調べ、業界研究、自己分析等、就職活動の準備をしましょう。さらに、留学中もインターネット等を通じて情報を集めることを怠らないで下さい。また、本学の就職キャリア支援事務室へ相談に行くのも良いでしょう。

過去の協定校留学者の中には、帰国後に就職活動を行い、希望通りの就職先を見つけた人もいれば、卒業を1学年延ばし就職活動に臨む人もいます。協定校留学者の留学体験記には、就職活動に関する報告も書かれていることがありますので、参考にして下さい。

【参考】 明治大学 就職キャリア支援事務室 <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/>

Q6 協定校留学の学内選考はどのようなものですか？

A6 書類選考と面接選考があります。書類選考では、募集期間内に皆さんから提出された協定校留学志望理由書、留学先での学習計画書、成績通知表、語学能力証明書などの出願書類を審査して選考を行います。

書類選考通過者には、日本語および留学先言語での面接を行います。面接にあたっては、志望動機、学習／研究計画、将来の計画などを日本語と外国語の両言語で話すことができるように準備することはもちろんのこと、留学先国や大学について入念に下調べをし、最大限の力・知識を発揮できるようにしましょう。

学内選考の時期は以下の通りです。変更が生じる可能性がありますので逐次「国際連携・留学」ホームページをチェックするようにして下さい。

留学先	学内募集時期（※変動の可能性有り）
英語圏（オーストラリア）	5～6月頃
韓国語圏	5～6月頃
英語圏（オーストラリア以外）	10～11月頃
フランス語圏	10～11月頃
ドイツ語圏	10～11月頃
イタリア語圏	10～11月頃
ロシア	10～11月頃
中国語圏	10～11月頃
その他語圏	10～11月頃

Q7 学内選考の倍率はどのくらいですか？

A7 志願者の希望留学先が重なることが多いため、全体の志願者数が少ない場合でも、大学毎で見ると倍率が高くなることもあります。また、英語圏については、TOEFL/IELTS の要求スコアが低い大学へ応募が集中する傾向があるため、選択肢を広げるためにも早くから受験準備をし、高得点取得を目指しましょう。

〔参考〕2011 年度協定校留学志願者数・合格者数

※志願者数は全て志願者の第一志望校を基準に集計しています。合格者には、第二志望以下の志望校に合格した方が含まれているため、志願者がゼロで合格者数を表記している場合や、志望者数より合格者数が多い表記となっている場合があります。

国	協定校	志願者	合格者
アメリカ	オレゴン大学	21	2
	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	6	2
	アイオワ大学	2	3
	サザンイリノイ大学カーボンデール校	1	1
	アラバマ大学	2	1
	ミズーリ州立大学	0	1
	ノースイースタン大学	0	1
イギリス	マンチェスター大学	2	2
カナダ	ヨーク大学	2	1
スウェーデン	リンシェーピング大学	6	5
オーストラリア	サンシャインコースト大学	1	1
フランス	リヨン第三大学	1	1
	ヴェルサイユ大学	1	1
	トゥールーズ第一社会科学大学	1	0
	パリ第三大学	1	0
ドイツ	イエナ大学	3	3
韓国	高麗大学	2	2
	梨花女子大学	1	1
	淑明女子大学	3	3
	国立忠北大学	1	1
中国	アモイ大学	1	1
	華東師範大学	1	1
	中央財經大学	1	1
台湾	国立台湾大学	1	1
	中国文化大学	1	1
ロシア	ブレハーノフ経済大学	2	2
合計		64	39

Q8 成績が良くないと学内選考で不利ですか？

A8 成績も評価対象なので良いに越したことはありませんが、成績の良し悪しだけで合否は決定されません。学習／研究計画、学業成績、語学能力、面接評価等に基づき、本学の代表として派遣するに相応しいか評価されます。但し、協定校の中には GPA3.0 以上など、学力の基準を設けていることがあり、そのような場合には協定校の基準に従いますので、基準を満たしていない場合には、協定校留学に応募することができません。

Q9 複数の大学に併願が可能ですか？

A9 所定の志願書に、志望大学を第三希望まで書くことができます。

Q10 日本国籍以外の学生も協定校留学に応募できますか？

A10 明治大学では、正規課程に在籍する留学生が、外国へ留学することを認めています。（原則として、母国以外に限られます。）ただし、国籍によっては日本国籍の方と比べると渡航先国のビザ取得の規定が異なったり、取得に時間がかかったりする場合があるので、予め各自で各国大使館等に確認をして下さい。また、協定校によっては、受入学生の国籍の条件を設けている場合があるので、詳細は募集時期に公開される募集要項で確認して下さい。

Q11 明治大学の学内選考に合格すれば協定校への留学が確定しますか？

A11 受入可否の最終判断をするのは協定校であり、また所属学部・研究科から留学許可を得る必要がありますので、学内選考合格イコール留学確定ではありません。

Q12 過去に同じ学部／研究科の先輩がどの協定校に留学したか知りたいです。

A12 以下の一覧を参照して下さい。(2008年度～2010年度合計)

協定大学校名	法学部	商学部	政治経済学部	文学部	農学部	経営学部	情報コミュニケーション学部	国際日本学部	法学研究科	商学研究科	政治経済学研究科	文学研究科	教養デザイン研究科
アイオワ大学	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
アラバマ大学	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルバータ大学	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウィーン大学	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ヴェルサイユ大学	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オレゴン大学	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
サザンイリノイ大学カーボンデール校	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
ジーゲン大学	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール経営大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パリ第3大学	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フランス国立東洋言語文化研究学院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
フリードリヒ・シラー・イエナ大学	0	0	0	5	0	0	1	0	1	0	0	2	0
プレハーフ経済大学	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
マレーシア科学大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミズーリ州立大学	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
モントリオール大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヨーク大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リヨン第3大学	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
リンシェーピン大学	0	0	3	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0
華東師範大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
高麗大	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
国立経営大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
国立台湾大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淑明女子大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
西シドニー大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
中国人民大学	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中国文化大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梨花女子大学	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
廈門大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	6	5	20	23	2	7	5	5	2	1	1	5	1

Q13 認定校留学はどのようにすれば良いですか？

A13 認定校留学は、自分で留学先の大学・高等教育機関を選択するものですので、対象となる大学は世界中にあります。その中から自身に合う大学を見つけるためには、まず留学の目的・勉強したい分野をはっきりさせましょう。次に、留学したい国・地域を定め、どのような大学があり、授業が展開されているかを調べましょう。大学選択の際には、選択条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サービス等）を書いた一覧表を作り、各大学を比較検討して下さい。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のホームページや、日本学生支援機構の留学情報ページを活用すると良いでしょう。

留学希望大学がある程度絞られてきたら、応募方法を確認し、出願書類を準備して出願します。大学により出願締め切りが異なりますので、注意して下さい。無事に入学許可を取得したら、所属学部・研究科で留学の手続きをして下さい。

Q14 明治大学がお勧めする大学はありますか？また、留学できる大学の一覧はありますか？

A14 ありません。認定校留学は、世界中の大学・高等教育機関が対象になりますので、皆さん自身が希望に基づいた留学先選びをして下さい。留学先を決定する上では情報収集が重要になりますので、各国大使館ホームページや日本学生支援機構により提供される留学情報を参考にして下さい。

Q15 留学斡旋業者を利用しようと考えていますが、明治大学は業者を紹介してくれますか？

A15 そのような紹介はおこなっておりません。斡旋業者利用の注意点が日本学生支援機構のウェブサイトにかかれていますので、参考にして下さい。 http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_04.html

語学能力について

Q16 協定校留学の学内選考に応募する際の語学能力基準はどのくらいですか？

A16 本冊子 P.47 の各協定校の詳細情報として、前年度実施の学内選考応募基準が記載されているので、参照して下さい。但し、この基準は協定校の都合により予告無く変更になる場合がありますので、必ず当該年度の学内募集次期に「国際連携・留学」ホームページや掲示板等に掲示される募集要項を確認して下さい。

Q17 TOEFLやIELTS等語学能力試験高得点者が協定校留学の学内選考で優先されるのですか？

A17 語学能力試験結果を協定校から求められている場合はその条件を満たしていることが前提となりますが、点数だけで合否は決定しません。学習／研究計画、学業成績、語学能力、面接評価等全てを総合評価し、本学の代表として派遣するに相応しいかどうかを決定します。

Q18 TOEFLのスコアレポートが学内募集期間内に提出できない場合はどうすれば良いですか？

A18 TOEFL のスコアは、受験日から約2週間後にインターネット上で確認できます。スコアレポートを締切までに提出できない場合は、インターネット上で確認できるスコアを印刷して提出して下さい。スコアレポートが届き次第国際教育センターに提出して下さい。

Q19 認定校留学をするため語学能力基準はどのくらいですか？

A19 認定校留学の場合は、留学先大学が定めている語学能力基準に従ってください。但し、英語圏への留学の場合、留学先大学が TOEFL-iBT61 以上を出願条件として定めていることが、認定校留学の条件です。これより下のスコアで受入可能な大学へ留学する場合は、本学は認定校留学として認めません。その他の語圏については、適宜審査されます。

Q20 留学先では自分の専門以外の授業も受講できますか

A20 各大学により異なります。留学生に対して幅広い分野で履修を許可している大学もあれば、協定校留学生の受講を制限している場合もあります。また授業毎に細かく履修条件が設定され、協定校留学者といえども特別扱い無く、それを満たしていない場合には履修を許可されないことがあります。各大学のホームページ等で、授業のシラバスを閲覧し、各自で授業内容について調べることをお勧めします。また、協定校留学を希望している方は過去の留学者の体験記も参考にしてください。

Q21 留学先で取得した単位はどのくらい認定されるのですか？

A21 留学先で取得した単位を本学で認定する条件は基本的に、本冊子 P.20 に記載されている通りです。単位認定の状況は、人によって異なります。単位認定を希望する人は、必ず事前に所属学部・研究科とよく相談をして下さい。

Q22 留学先ではお金はどれくらい必要になるのですか？

A22 協定校留学の場合、留学先大学の授業料は免除となるため、生活費、宿舍費、交通費、雑費等が必要になります。国・地域の物価によっても大きく異なりますが、大体 150 万円～200 万円は必要と考えて良いでしょう。認定校留学は、本学と留学先両方の学費を納付するため、地域によっては 300 万円を超える場合があります。(本冊子 P.27 参照)

Q23 留学のための奨学金はありますか？

A23 協定校留学・認定校留学制度を利用する人は、明治大学外国留学経費助成金に申請できます。(本冊子 P.20 参照) このほか、日本学生支援機構のホームページでも多くの留学のための奨学金情報を公開していますので、参考にしてください。

8

本学における語学講座の紹介

ここでは各学部のカリキュラム中の必修外国語科目以外に設置されている語学講座を紹介します。いずれも外国文化理解と会話を中心とした実践的運用能力の養成を目的とします。学内で行われる講座を積極的に活用することをお勧めします。

○学部間共通外国語科目

※下記は2010年度開講科目です。2011年度については各キャンパス教務事務室（生田キャンパス課）で配布される学部間共通外国語シラバスを参照して下さい。

1 開講科目

英会話、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話、ロシア語・ロシア語会話、スペイン語、朝鮮語、ギリシア語、ラテン語、イタリア語、アラビア語。

(1) 内 容：レベル別。学部間共通外国語シラバスで確認して下さい。

(2) 対 象：本学学生

(3) その他：その他：募集人員、履修上の注意点（一部、事前に Web 抽選を行う科目があります）などについては、各キャンパス教務事務室（生田キャンパス課）で配布する学部間共通外国語シラバスを参照して下さい。

2 国際理解講座

留学を計画している方や、異文化への理解を深めたい方などを対象にした講座で、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏、中国語圏についての国際理解講座が開講されています。

※募集人員、履修上の注意点などについては、各キャンパス教務事務室（生田キャンパス課）で配布する学部間共通外国語シラバスを参照して下さい。

3 集中講座

〈夏 期〉

(1) 種 類：英会話、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話

(2) 内 容：外国語コミュニケーション能力の向上を目的として学内にて実施。

(3) その他：募集人員、受講料、募集期間、開講期間などの詳細は、5月中旬頃各キャンパス教務事務室（生田キャンパス課）で配布する募集要項を参照して下さい。

〈春 期〉

(1) 種 類：英会話

(2) 内 容：合宿形式により集中的に講義し、外国語コミュニケーション能力の向上を目的として本学セミナーハウスにて実施。

(3) その他：募集人員、受講料、募集期間、開講期間などの詳細は、10月下旬頃各キャンパス教務事務室（生田キャンパス課）で配布する募集要項を参照して下さい。



4 海外短期語学研修

国際教育センターでは、夏期と春期の長期休業期間中に英語、フランス語、ドイツ語等の海外語学研修を実施しています。
各語学研修の詳細は、4月頃に国際教育センターの掲示板や「国際連携・留学」ホームページに掲載する募集要項で確認して下さい。

○2010年度夏期・春期語学研修実施例（※研修先は変更となる可能性があります。）

カナダ：ヨーク大学、マクマスター大学、ユークン・カレッジ

イギリス：シェフィールド大学、ケンブリッジ大学

アメリカ：オレゴン大学

フランス：アリアンス・フランセーズ・トゥールーズ

オーストラリア：ウィーン大学

スペイン：アリカンテ大学



9

協定校紹介

※協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告なく変更になる場合があるので、必ず当該年度の学内募集時期に「国際連携・留学」ホームページや掲示板等で公開される募集要項で確認して下さい。
 ※大学の最新詳細情報については各大学ホームページで必ず確認して下さい。

1. 北米・中南米の協定校 P.47
2. オーストラリアの協定校 P.51
3. 欧州の協定校 P.52
4. 南アフリカ・中東・東南アジアの協定校 P.61
5. アジアの協定校 P.66



UNIVERSITY OF OREGON

オレゴン大学



大学概要 オレゴン州のユーージーン市に位置する州立大学。1876 年創立。アメリカ北西部では先端的研究大学の一つとして認められている。

所在地	Eugene, OR 97403		
URL	http://www.uoregon.edu		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	3学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～3月、3学期：3月～6月）		
協定校留学出願条件	学部生：TOEFL-iBT61/ITP500 以上または IELTS6.0 以上 (Architecture 希望者は TOEFL-iBT90/ITP575 以上、Business 希望者は TOEFL-iBT89/ITP575 以上) 大学院生：TOEFL-iBT88/ITP575 以上（但し、学科によって出願条件が異なるため参考 URL で確認すること。）		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
参考 URL	http://international.uoregon.edu/exchange 大学院生： http://gradschool.uoregon.edu/?page=gradProgramInfo		





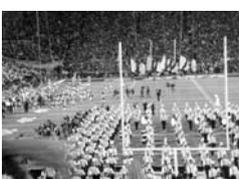

THE UNIVERSITY OF IOWA

アイオワ大学



大学概要 アイオワ州アイオワシティに位置する州立大学。1847 年創立。30,000 人の学生が在籍。Liberal Arts and Sciences、Education、Law、Engineering などの分野を有する。

所在地	1111 University Capitol Centre, Iowa City IA 52242-5500	URL	http://www.uiowa.edu
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	2011 年度より以下のとおり変更となる予定です。但し、最新の出願条件は 10 月頃に公開される募集要項で必ず確認して下さい。 次の①または②のスコアを有していること。 ① TOEFL-iBT80 以上（但し、College of Law は TOEFL-iBT92 以上、Tippie School of Management MBA Program は TOEFL-iBT100 以上）で、各セクションが 17 点以上であること。 ② IELTS6.5 以上（各セクション 6.0 以上） ※ IELTS で出願した者、また TOEFL で出願し渡航時までに TOEFL-iBT100 のスコアを提出できない者は、現地で着後英語能力試験を受験する。試験結果により、語学授業履修を義務付けられる場合がある。		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Tippie College of Business は交換留学生が履修できる授業が大きく制限されている。		
参考 URL	http://international.uiowa.edu/exchange/application.asp		

協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



アメリカ

SOUTHERN ILLINOIS UNIVERSITY AT CARBONDALE

サザンイリノイ大学カーボンデール校



大学概要

1869年にイリノイ州で2番目の教師養成学校として設立された州立大学。
Business、Engineering、Liberal Arts、Media、Science等の分野を有する。

所在地	Carbondale, IL 62901-6899				
URL	http://www.siu.edu/				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	英語
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）				
協定校留学出願条件	学部生：原則として TOEFL-iBT75/TP537 以上または IELTS6.0 以上 大学院生：TOEFL-iBT80 以上または IELTS6.0 以上（但し、学科によって GPA が必要な場合もあり、出願条件が異なるため参考 URL で確認すること。）				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	1. Medicine, Law School, College of Applied Arts and Sciencesは交換留学生の履修不可。 2. 大学院生でサザンイリノイ大学を志望する者は、必ず早期に国際教育事務室窓口にご相談すること。大学院生の受入は、同大学各受入学科の審査・判断による。				
参考 URL	大学院生： http://www.siu.edu/gradschl/admit-international.htm				



アメリカ

THE STATE UNIVERSITY OF NEW YORK AT NEW PALTZ

ニューヨーク州立大学ニューパルツ校



大学概要

マンハッタンから電車で90分ほどの人口1万人にも満たないニューパルツ市にある1828年創立の総合大学。広大なキャンパスに豊富な自然と歴史ある建造物が調和している。ビジネス、社会学、工学等多数の分野で学部は100、大学院では50のプログラムを提供している。

所在地	1 Hawk Drive, New Paltz NY 12561				
URL	http://www.newpaltz.edu/				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	英語
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）				
協定校留学出願条件	原則として TOEFL-iBT75/TP537 以上または IELTS6.0 以上				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名		



アメリカ

THE UNIVERSITY OF ALABAMA

アラバマ大学



大学概要

1831年にアラバマ州初の公立大学として設立された。約30,000人の学生が在籍し、うち約1,000人が留学生。経営学、教育学、法学、工学等200に渡る分野で授業を提供している。

所在地	Tuscaloosa, AL 35487				
URL	http://www.ua.edu/				
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	英語
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）				
協定校留学出願条件	①学部生：TOEFL-iBT61 以上または IELTS6.0 以上 大学院生：TOEFL-iBT80 以上または IELTS6.5 以上。 但し学科・授業毎に履修条件が異なるので参考 URL で確認すること。 ② GPA3.0 以上				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業毎に履修条件が異なるので参考 URL（ゲストログインで閲覧可）でシラバスを確認すること。				
参考 URL	https://mybama.ua.edu/cp/home/displaylogin				



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



アメリカ

MISSOURI STATE UNIVERSITY

ミズーリ州立大学



大学概要

1905年に、師範学校として設立された。現在では、ミズーリ州で2番目に大きな大学、学部レベルの専攻は93、大学院プログラムを44有する。

所在地	901 South National Avenue, Springfield, Missouri 65897		
URL	http://www.missouristate.edu/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生のみ
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-IBT61以上(但し各セクションが15点以上であること)、またはIELTS5.5以上(各セクションが5.0以上) ② GPA3.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Physical Therapy, Athletic Training, Communication Sciences and Disorders, Physician Assistant Program, Sports and Medicineは交換留学生履修不可。		



アメリカ

NORTHEASTERN UNIVERSITY

ノースイースタン大学



大学概要

米国のマサチューセッツ州ボストンの市街地に立地する都市型大学の一つで、2008年度のUS News誌の全米ベスト100のランキングで96位に位置づけられる研究型大学。在籍学生数は20,000人近く、うち約2,400人を留学生が占める。人文社会、経営、ジャーナリズム、情報科学、工学などの分野を持つ。

所在地	360 Huntington Ave., Boston, Massachusetts 02115		
URL	http://www.northeastern.edu/neuhome/index.php		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生のみ
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-IBT79/ITP550以上、またはIELTS6.0以上 ②原則としてGPA3.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	College of Business Administration, Law Courseは交換留学生の履修不可。また、授業毎に履修条件が設定されており、履修にあたってはその条件を満たす必要があるため、参考URLで確認をすること。		
参考URL	http://www.northeastern.edu/registrar/		



アメリカ

THE UNIVERSITY OF MEMPHIS

メンフィス大学



大学概要

テネシー州メンフィス市に位置する1912年創立の州立大学。コミュニケーション、ジャーナリズム、政治、経済、社会学などの人文科学系学部から機械工学、物理、化学などの工学部まで有する総合大学。在籍学生は約20,000人。

所在地	Memphis, TN 38152		
URL	http://www.memphis.edu/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生のみ
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-IBT78以上またはIELTS6.0以上 ② GPA2.75以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	①オンラインで提供されている授業は交換留学生の履修不可。 ②授業毎に履修条件が設けられている。参考URL参照。		
参考URL	http://www.memphis.edu/ugcatalog/coursedescrip/index.php		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



カナダ

YORK UNIVERSITY

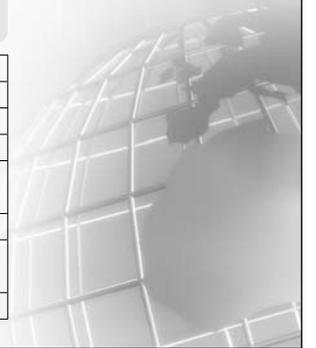
ヨーク大学



大学概要

1959年にトロント大学の一組織として設立され、1965年にヨーク大学として独立（州立）。トロント市郊外に位置し、広大なキャンパスを有する。

所在地	4700 Keele Street, Toronto ON M3J 1P3		
URL	http://www.yorku.ca		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	①原則として TOEFL-iBT83 以上または IELTS6.5 以上 ②大学院生は、学部時及び大学院双方における成績が GPA3.0 以上であること。		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Atkinson Faculty of Liberal and Professional Studies, Business Administration, Schulich School of Business, Law, Fine Arts, Computer Science, Political Science(Graduate) は交換留学生の履修不可。		
参考 URL	http://international.yorku.ca/exchange/incoming/process.htm		



カナダ

UNIVERSITY OF ALBERTA

アルバータ大学



大学概要

アルバータ州の州都エドモントンに位置する 1906 年創立の州立大学。カナダ屈指の名門大学であり、特に医療薬理系で評価が高い。留学生も多く受け入れており、英語教育には定評がある。

所在地	114 Street 89 Ave. Edmonton Alberta T6G 2E1		
URL	http://www.ualberta.ca		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～4月）		
協定校留学出願条件	学部生：TOEFL-iBT81 以上 大学院生：TOEFL-iBT86 以上		
学部1年生による出願可否	Faculty of Engineering 以外は可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	以下は交換留学生の履修不可。 Medicine, Dentistry, Pharmacy, Criminology, Computer Engineering, BUS 201, Accounting courses and some Business courses		



カナダ

UNIVERSITÉ DE MONTRÉAL

モントリオール大学



大学概要

ケベック州のモントリオール市に位置する総合大学。フランス語圏の大学としては、フランスのパリ大学について世界 2 番目の規模を誇る。

所在地	3744 rue Jean-Brillant, Montréal QC H3T 1P1		
URL	http://www.umontreal.ca		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～4月）		
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	英語での講義は有料。法学部は交換留学生の履修不可。		
参考 URL	http://www.international.umontreal.ca/echange/cap-udem/guide-eng.html		



協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



カナダ

DALHOUSIE UNIVERSITY

ダルハウジー大学



大学概要

1818年創立。約16,000人の学生が在籍。うち、約1,700人を留学生が占める。
経営学、コンピューターサイエンス等の学部を有し、180に渡る分野で3,700以上の授業を提供する。

所在地	6299 South Street, Halifax NS, B3H 4H6		
URL	http://www.dal.ca/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生のみ
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～4月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT90以上またはIELTS6.5以上		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Engineering, Architecture and Planning, Health Professions, Lawは交換留学生の履修不可。		



メキシコ

UNIVERSIDAD NACIONAL AUTÓNOMA DE MÉXICO

メキシコ国立自治大学



大学概要

1551年創立の王立メキシコ大学を前身とする。メキシコ国内及びイペロアメリカで最大規模を誇り、在籍学生数は約30万人。国内では唯一、過去にノーベル賞受賞者を輩出したことがある大学。キャンパスは世界遺産にも登録されている。

所在地	Insurgentes 3000, Coyoacan, 04510 Ciudad de Mexico, Distrito Federal		
URL	http://www.unam.mx/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	詳細未定		
学部1年生による出願可否	詳細未定	募集人数	詳細未定
出願条件・授業履修に関する注意事項	詳細未定		



オーストラリア

UNIVERSITY OF WESTERN SYDNEY

西シドニー大学



大学概要

1989年創立、6つのキャンパスを擁する大規模な総合大学。オーストラリア国内では8番目の規模を誇り、在籍する留学生も多い。

所在地	Locked Bag 1797, Penrith South DC, NSW 1797		
URL	http://www.uws.edu.au/		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：2月～6月、2学期：7月～11月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT89以上 (writing21点以上、他の各セクションが18点以上)、またはIELTS6.5以上 (各セクションにおいて6.0以上)。ただし、Professional Education Courseなど、学部・学科によってTOEFL-iBT100以上 (Writing21点以上、他の各セクションが18点以上)、またはIELTS7.0以上 (各セクション6.0以上) が求められるため、参考URLで必ず確認すること。 ②オーストラリア国籍を有していないこと。		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	交換留学生の履修が認められない分野は、Medicine, Occupational Therapy, Allied Health。また、授業毎に履修条件が設けられているため、参考URLで必ず確認すること。		
参考URL	http://www.uws.edu.au/international/study_abroad/		

協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



オーストラリア

UNIVERSITY OF THE SUNSHINE COAST

サンシャインコースト大学



大学概要

1997年に新設されたオーストラリアで最も新しい国立大学。学生数は約7,000人で、うち800人以上が留学生。人文・社会学部において Japanese and International Business コースが設置されている。

所在地	Locked Bag 4 Maroochydore DC, QLD 4558		
URL	http://www.usc.edu.au/		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	英語		
学年暦	2学期制（1学期：2月～6月、2学期：7月～11月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT76以上（Writing18点以上）またはIELTS6.0以上（各セクションにおいて5.5以上）		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業毎に履修条件が設けられているので、大学ウェブサイトを確認すること。		



オーストラリア

UNIVERSITY OF NEW SOUTH WALES

ニューサウスウェールズ大学



大学概要

1949年創立。約46,000人の学生が在籍し、うち約10,000人以上が留学生。人文・社会・理工学系全般にわたる教育・研究組織を備える総合大学。

所在地	Sydney NSW 2052		
URL	http://www.unsw.edu.au/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	英語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：7月～11月）		
協定校留学出願条件	学部・大学院：TOEFL-iBT90以上（Writing24点以上）またはIELTS6.5以上（各セクションにおいて6.0以上）であること		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	以下は交換留学生の履修不可。 AGSM MBA, Medicine, ADFA, Summer/Winter Session, Law, Studio Courses, Any GLST or INST course, Any MDCM courses, Any EDST course, All Dance courses, ASIA 1002, Online courses via WeBct, GBAT 9102 and GBAT 9106, MARK4999 Industrial Training3, MARK3999 Industrial Training2, MARK2999 Industrial Training1, FINS3200 Industrial Training3, FINS3100 Industrial Training2		
参考URL	http://www.international.unsw.edu.au/exchange/exchangehome.html		



イギリス

UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェフィールド大学



大学概要

イギリス北部のシェフィールド市に位置する国立大学。1897年創立のユニバーシティ・カレッジを前身とし、1905年に総合大学として独立。特に理系分野での教育・研究評価は高い。

所在地	Western Bank, Sheffield S10 2TN		
URL	http://www.shef.ac.uk/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	英語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT80またはIELTS6.0以上 （但し、学科によって要求されるスコアが異なるので必ず各自で参考URLで詳細を確認すること） ② GPA3.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
参考URL	http://www.shef.ac.uk/studyabroad/overseas/prospective/entry.html		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



イギリス

THE UNIVERSITY OF MANCHESTER (FACULTY OF HUMANITIES)

マンチェスター大学



大学概要

イギリスでも伝統ある国立大学で、現在の大学は 1824 年創立のマンチェスター工科大学および 1851 年創立のマンチェスター・ビクトリア大学が 2004 年に統合されたもの。現在までに 23 名の教員および卒業生がノーベル賞を受賞している。

所在地	Oxford Road, Manchester, M13 9PL	URL	http://www.manchester.ac.uk/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生のみ	言語	英語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）				
協定校留学出願条件	<p>【語学能力】 次の①または②いずれかの条件を満たしていること。 ① TOEFL-IBT90 以上（ただし Writing 22 点以上であること）または IELTS 6.5 以上（ただし Writing 5.5 以上であること） ② TOEFL-IBT80 以上（ただし Writing 20 点以上であること）または IELTS 6.0 以上（ただし Writing が 5.0 以上であること） ※ 通常授業と平行して、語学授業（英語）履修が義務付けられる。 ※ Business/Management, Life Sciences 希望者は①のスコアを有していること。 ※ Law, Education, English Literature 希望者は TOEFL-IBT100 または IELTS 7.0 以上が必要。 【その他の条件】 上記語学能力条件を満たした者で、次の全ての条件を満たしていること。 ③ GPA3.0 以上</p>				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	交換留学生の受入は、Faculty of Humanitiesのみ。現地において Language Proficiency Test を受験し、結果によっては英語の語学授業履修が求められる。交換留学生の履修が制限されている授業もあるため、参考 URL で確認すること。				
参考 URL	http://www.manchester.ac.uk/international/studyabroadandexchanges/exchange/course/				



スウェーデン

LINKÖPING UNIVERSITY

リンシェーピン大学



大学概要

スウェーデンのストックホルムとコペンハーゲンの間の自然豊かなリンシェーピン市に位置する総合大学。創立 1969 年。

所在地	581 83 Linköping				
URL	http://www.liu.se/en/				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	英語
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～6月）				
協定校留学出願条件	原則として TOEFL-IBT75/ITP537 以上または IELTS 6.0 以上				
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業毎に履修条件が設定されているため、各自参考 URL で確認をすること。				
参考 URL	http://www.liu.se/en/education/exchange/courses?l=en				



フランス

UNIVERSITÉ TOULOUSE 1 SCIENCES SOCIALES

トゥールーズ第一社会科学大学



大学概要

1229 年創立のトゥールーズ大学が 3 つに分かれ、1969 年にトゥールーズ第一社会科学大学となる。約 17,000 人の学生が在籍。フランス国内で 4 番目の規模を誇るトゥールーズ市内に位置し、街は学生で賑わい、比較的小さいため各所へ徒歩での移動が可能。

所在地	2 rue du Doyen-Gabriel-Marty 31042 Toulouse				
URL	http://www.univ-tlse1.fr				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	フランス語
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～6月）				
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1名		



協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



フランス

INSTITUT NATIONAL DES LANGUES ET CIVILISATIONS ORIENTALES

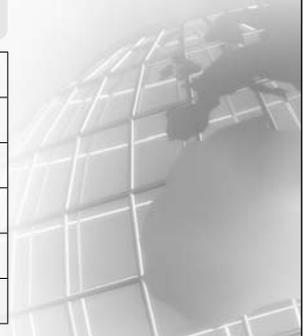
フランス国立東洋言語文化研究院



大学概要

1795年外交官を育てることを目的とした外国語専門学校として設立。1971年に現在の名称に改めた。アジア、アフリカ、東ヨーロッパ、オセアニア、ロシア、アメリカなど、総じて89カ国にのぼる国の言語および文化、その地域ないし諸国の地理、歴史、諸制度、政治、経済、社会生活等を総合的に研究教育する機関。日本学科に在籍する学生は1,000人を超える。

所在地	2 rue de Lille, 75343 Paris cedex 07		
URL	http://www.inalco.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



フランス

UNIVERSITÉ JEAN MOULIN - LYON 3

リヨン第三大学



大学概要

フランス第二の都市、南東部のリヨン市に位置する総合大学。1973年にリヨン大学の組織再編により、独立した大学となる。約23,000人の学生が在籍し、うち2割以上が留学生でキャンパス内は国際色豊か。文学・哲学・法学・言語学などの分野における教育を提供。

所在地	6, Cours Albert Thomas, 69008 Lyon		
URL	http://www.univ-lyon3.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



フランス

UNIVERSITÉ DE VERSAILLES SAINT-QUENTIN-EN-YVELINES (UVSQ)

ヴェルサイユ大学



大学概要

1991年にパリ郊外の地域や自治体の援助によって設立された大学。パリから電車で1時間ほどのパリ西部イヴリーヌ県に位置している。学生数は約18,000人で、うち72カ国から集まる2,400人の留学生が在籍する。

所在地	Bâtiment d'Alembert, 47 Boulevard Vauban, 78047 Guyancourt		
URL	http://www.uvsq.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



フランス

UNIVERSITÉ SORBONNE NOUVELLE PARIS 3

パリ第三大学ソルボンヌ・ヌーヴェル



大学概要

12世紀に創設された旧パリ大学が1970年にパリ第一から第十三までの大学に再編された。学生数約20,000名、19の教育研究機関を有し、フランス語、フランス文学・文明の他、様々な外国語、外国文学・文明、歴史の研究が盛んな人文科学系の大学。

所在地	13 rue Santeuil, 75231 Paris, CEDEX 05		
URL	http://www.univ-paris3.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	DELF B1以上、TCF level 3以上、TFE level 3以上のいずれかを有している者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



フランス

UNIVERSITÉ DE PROVENCE AIX-MARSEILLE I

プロヴァンス大学エクス・マルセイユ I



大学概要

15世紀に創設されたエクス・マルセイユ大学から、分離独立してできた大学。約20,000人の学生（留学生は約3,000人）が学ぶ。人文科学、言語学等の分野を持つ。

所在地	3, Place Victor-Hugo, F-13331 Marseille CEDEX 3, France		
URL	http://www.univ-provence.fr		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	TCF 4級以上または DELFB 1以上を有していること。		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



フランス

UNIVERSITÉ DE REIMS CHAMPAGNE ARDENNE

ランス大学



大学概要

1961年創立。パリから電車で約一時間半の町ランスに位置する。約22,000人の学生が在籍し、文学、外国語学、教養学、社会学、経済学、経営学、理工学、薬学の分野で授業を提供する。

所在地	9 boulevard de la paix, 51100 REIMS		
URL	http://www.univ-reims.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	フランス語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	フランス語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



フランス

L'UNIVERSITÉ PARIS DIDEROT

パリ・ディドロ（パリ第七）大学



大学概要

1970年に、旧パリ大学が第一から第十三までの大学に再編成されたうちのひとつであり、フランス有数の学際的・超域的研究の一大拠点。医学、生命科学、物理学、文学、歴史、芸術、言語と理系から文系に渡る学部が設置されている。在籍学生は約25,000人。

所在地	Batiment des Grands Moulins 5 rue Thomas Mann 75013 Paris		
URL	http://www.univ-paris-diderot.fr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	フランス語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	詳細未定		
学部1年生による出願可否	詳細未定	募集人数	1～2名



ドイツ

FRIEDRICH-SCHILLER-UNIVERSITÄT JENA

フリードリヒ・シラー・イエナ大学



大学概要

1558年に創立された総合大学。21,000人の学生が在籍し、うち1,300人が留学生。外国人留学生のためのドイツ語教育が充実しており、評判も高い。

所在地	Fürstengraben 1, D-07743 Jena		
URL	http://www.uni-jena.de/		
留学期間	4月または10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	ドイツ語
学年暦	2学期制（1学期：10月～3月、2学期：4月～9月）		
協定校留学出願条件	ドイツ語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



ドイツ

UNIVERSITÄT SIEGEN

ジューゲン大学



大学概要

1972年創立。国際交流を積極的に推進しており、ヨーロッパの約130大学と交流協定を締結し、約1,700人の留学生が在籍している。人文・社会系の研究型大学として、ドイツ政府の研究補助金を獲得している有名大学である。

所在地	D-57068, Siegen		
URL	http://www.uni-siegen.de/uni/universitaet/		
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	ドイツ語
学年暦	2学期制（1学期：10月～2月、2学期：4月～7月）		
協定校留学出願条件	ドイツ語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



オーストリア

UNIVERSITÄT WIEN

ウィーン大学

大
概
要

1365年にルドルフ4世によって創立されたドイツ語圏で最古の大学。9名のノーベル賞受賞者を排出しており、教育・研究ともに質が高い。86,000人の学生が在籍し、130以上の国から留学生を受入れている。外国人のためのドイツ語講座も充実している。

所在地	Dr.-Karl-Lueger-Ring 1, 1010 Vienna		
URL	http://www.univie.ac.at/		
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	ドイツ語
学年暦	2学期制（1学期：10月～1月、2学期：3月～6月）		
協定校留学出願条件	ドイツ語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



スイス

UNIVERSITÄT ZÜRICH

チューリッヒ大学

大
概
要

1833年創立のスイス国内最大の大学。1901年から現在まで12名のノーベル賞受賞者を輩出しており、中にはレントゲンやアインシュタインが含まれている。人文科学系学部、医学部を有する総合大学で、在学生約24,000人。留学生も多く、世界100カ国から約3,000人を受け入れている。

所在地	Rämistrasse 71, CH-8006 Zurich		
URL	http://www.unizh.ch/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	ドイツ語
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：2月～5月）		
協定校留学出願条件	ドイツ語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



ポーランド

UNIwersytet ŁÓDZKI

ウッジ大学

大
概
要

1921年創立の師範学校、1924年創立の社会・経済学高等専門学校および1928年創立の自由ポーランド大学が合併し、1945年5月24日に設立された。人文科学、理学系の学部を有する総合大学。

所在地	ul. Narutowicza 65, PL-90-131 Łódź		
URL	http://www.uni.lodz.pl/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	ポーランド語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	詳細未定		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	交換留学生の受入は Faculty of Philosophy and History のみ。		
参考 URL	http://www.iso.uni.lodz.pl		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



ハンガリー

EÖTVÖS LORÁND UNIVERSITY

エトヴェシュ・ロラード大学



大学概要

370年以上の歴史を持ち、ハンガリーで最も古く大規模な大学である。主に人文科学系の学部を擁し、約30,000人の学生が学ぶ。過去に5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、教育の水準の高さを誇っている。

所在地	1053 Budapest, Egyetem tér 1-3		
URL	http://www.elte.hu/en		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	英語、ハンガリー語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	原則として TOEFL-iBT75/ITP537 以上		
学部1年生による出願可否	可		
出願条件・授業履修に関する注意事項	英語で行われている授業については参考 URL で確認すること。		
参考 URL	http://www.elte.hu/en/courses		



イタリア

UNIVERSITÀ DEGLI STUDI DI SIENA

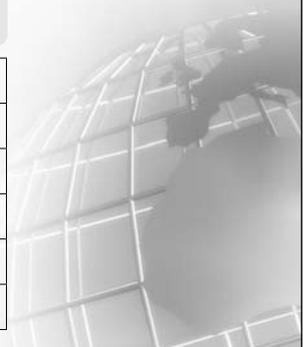
シエナ大学



大学概要

1240年創立の歴史ある大学で、校舎も歴史的に貴重な建築物となっており、またシエナ市の街全体が世界遺産に登録されている。人文科学系学部から工学、医学部まで有する総合大学。

所在地	Via Banchi di Sotto 55, 53100 Siena		
URL	http://www.unisi.it/		
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	イタリア語		
学年暦	2学期制（1学期：10月～2月、2学期：3月～7月）		
協定校留学出願条件	PLIDA イタリア語検定 B1 以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



イタリア

UNIVERSITÀ CA' FOSCARI VENEZIA

ヴェネツィア大学



大学概要

1868年創立。ヴェネツィア大学は、東西交流の架け橋となったイタリアのヴェネツィアという都市に立地し、国際交流に力を入れており、外国人留学生の受入にも積極的。同大学の外国語学部には東アジア学科が設置されており、日本研究も行われている。

所在地	Dorsoduro 1453 Venezia		
URL	http://www.unive.it/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	イタリア語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	イタリア語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	イタリア語のレベルにより履修できる授業が異なる。		
参考 URL	http://www.unive.it/nqcontent.cfm?a_id=10395		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



イタリア

UNIVERSITÀ DEGLI STUDI DI MILANO

ミラノ大学

大
概
要

正式な創立年は 1923 年だが、それ以前から既に大学としての歴史を持っており、ヨーロッパの中でも古い歴史を誇る大学の一つ。6 万人以上の学生が在籍し、人文科学系学部、農・医・運動学部など 9 学部を有する。イタリア第二の都市に立地しており、イタリアの最先端の芸術やファッションも学ぶことができる。



所在地	Via Festa del Perdono 7 - 20122 Milano		
URL	http://www.unimi.it/		
留学期間	9月あるいは10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	イタリア語		
学年暦	2学期制（1学期：10月～1月、2学期：2月～6月） ※学部・学科によって学年暦が異なるのでミラノ大学ウェブサイトを確認すること。		
協定校留学出願条件	原則として PLIDA イタリア語検定 B2 以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



ブルガリア

SOFIA UNIVERSITY
ST. KLIMENT OHRIDSKI

ソフィア大学

大
概
要

オスマン＝トルコ帝国支配からブルガリアが開放された 10 年後の 1888 年に創設されたブルガリア最古の高等教育機関、最大の国立総合大学である。15 学部、7 キャンパスから成る。



所在地	1504 Sofia, 15 Tsar Osvoboditel Blvd		
URL	http://portal.uni-sofia.bg/index.php/eng/		
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	ブルガリア語		
学年暦	2学期制（1学期：10月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	授業は全てブルガリア語で行われるため、講義を理解するのに十分なブルガリア語能力を有すること。		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



ルーマニア

UNIVERSITY OF BUCHAREST

ブカレスト大学

大
概
要

ルーマニアにおいて最も長い歴史と伝統を持つ総合大学であり、ルーマニアで唯一、主専攻としての日本語学科と、日本研究の修士課程を設置している。日本・日本語研究に関する蔵書を国内で最も多く所蔵する図書館もあり、ルーマニアにおける日本・日本語研究の中核となっている。



所在地	36-46, M. Kogălniceanu Bd, Sector 5, 70709, Bucharest		
URL	http://www.unibuc.ro/ro/home		
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生（博士前期課程）
言語	ルーマニア語		
学年暦	2学期制（1学期：10月～2月、2学期：3月～7月）		
協定校留学出願条件	①日本国籍を有していること。 ②English Department of the Master's course のみ英語で開講される授業がある。英語による授業を履修する場合は、TOEFL-iBT75 以上であること。 ③その他の授業はルーマニア語で開講されるため、講義を理解するのに十分なルーマニア語能力を有すること。		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名

協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



セルビア共和国

UNIVERSITY OF BELGRADE

ベオグラード大学



大学概要

セルビア共和国最大の総合大学であり、古い歴史と高い研究水準を誇っている。また、1976年に日本語講座を開設するなど、早くから日本語教育に力を入れている。

所在地	Studentski Trg 1, 11000 Belgrade				
URL	http://www.bg.ac.rs/en_index.php				
留学期間	10月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	セルビア語
学年暦	2学期制（1学期：10月～2月、2学期：2月～9月）				
協定校留学出願条件	①交換留学生の受入は、文学部、哲学部、政治学部のみ。 ②授業は全てセルビア語で行われるため、講義を理解するのに十分なセルビア語能力を有すること。 ③セルビア国籍を有していないこと。				
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名		



ロシア

PLEKHANOV RUSSIAN ACADEMY OF ECONOMICS

プレハーフ経済大学



大学概要

1907年創立。経済を専門にした大学の中ではロシアで最も古い大学で、ロシア内の経済系大学5指のひとつに数えられている。在学生数は約12,000人。

所在地	36 Stremyanny per., Moscow, 115998				
URL	http://www.rea.ru/				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	ロシア語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）				
協定校留学出願条件	①ロシア語：日常生活に支障のない語学力を有すること。 ②英語：経営学に関わる講義を英語で聴講し、英語によるレポート作成や発表する能力を有すること。 ③交換留学生の受入れは同大学の International Business School (IBS-Plekhanov) のみ（授業は全て英語）				
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	交換留学生の受入れは同大学の International Business School (IBS-Plekhanov) のみ。英語による講義のみを履修可能。				



ロシア

KRASNOYARSK STATE PEDAGOGICAL UNIVERSITY

クラスノヤルスク教育大学



大学概要

1932年創立の、ロシア連邦中部クラスノヤルスク市に所在する教育大学。教育学部のほか、地理学、史学の分野でも定評がある。

所在地	82, Lebedeva St., Krasnoyarsk, 660049				
URL	http://www.kspu.ru/				
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生	言語	ロシア語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期2月～6月）				
協定校留学出願条件	TRKI レベル3以上を有していること				
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名		



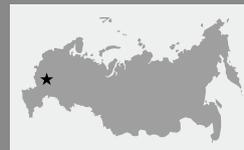
協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



ロシア

STATE UNIVERSITY OF MANAGEMENT

国立経営大学

大
学
要

1919年以来、ソ連国有企業管理者の養成を中心的に担ってきた大学であり、現在でも経営学教育機関としてはロシアでトップの地位にある。ロシアの多くの有力企業との提携関係に基づいて、実務的な研究、学生教育、社会人教育を展開している。学生数約 17,000 人。

所在地	Russia, Moscow 109542, Ryazansky Prspect, 99		
URL	http://guu.ru/index.php		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	①ロシア語：日常生活に支障のない語学力を有すること。 ②英語：経営学に関わる講義を英語で聴講し、英語によるレポート作成や発表する能力を有すること。 ③交換留学生の受入れは同大学のマーケティング学部のみ。		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	交換留学生が履修できるのは同大学でのマーケティング学部において英語により開講される授業のみ。		



南アフリカ

UNIVERSITY OF FORT HARE

フォートヘア大学

大
学
要

1916年創立。近隣諸国の大統領をはじめ、著名な卒業生を多数輩出している。非人種差別主義（non-racism）を長年の伝統としている国際的な大学。

所在地	Private Bag X1314, Alice 5700, South Africa		
URL	http://www.ufh.ac.za/		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：2月～3月及び4月～6月、2学期：6月～9月及び10月～11月）		
協定校留学出願条件	詳細未定		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	詳細未定



南アフリカ

UNIVERSITY OF LIMPOPO

リンポポ大学

大
学
要

前身である University of the North が、1959年に University College of North として設立され、1969年に大学へ昇格した。学生数約 4,000 人。

所在地	Turfloop, Sovenga, POLOKWANE 0727, South Africa		
URL	http://www.ul.ac.za		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	大学院生のみ
学年暦	2学期制（1学期：2月～6月、2学期：7月～12月）		
協定校留学出願条件	詳細未定		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	詳細未定

協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



トルコ

MIDDLE EAST TECHNICAL UNIVERSITY

中東工科大学



大学概要

1956年創立。トルコ屈指の大学の一つで、授業は全て英語で行われている。教育学部、工学部、経済・経営学部、建築学部、理学等を持つ。

所在地	06531 Ankara		
URL	http://www.metu.edu.tr/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	英語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.5以上 ② GPA2.5以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業によって交換留学生在履修できない場合があるため、留学希望者は早期に国際教育事務室に相談すること。		



シンガポール

SINGAPORE MANAGEMENT UNIVERSITY

シンガポール経営大学



大学概要

2000年にシンガポール政府出資のもと設立されたシンガポール第3番目の総合大学。6学部を有し、在籍生は約7,000人。

所在地	Building, 81 Victoria Street, Singapore 188065		
URL	http://www.smu.edu.sg/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	英語		
学年暦	2学期制（1学期：8月～11月、2学期：1月～4月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.5以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Business Study Missionは履修不可。交換留学生在履修できる授業には制限があり、また履修方法も複雑であるため、詳細を参考URLで必ず確認すること。		
参考URL	http://www.smu.edu.sg/international_exchange/for_incoming_students/academic_information.asp		



マレーシア

UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA

マレーシア工科大学



大学概要

クアラルンプールとジョホールにキャンパスを有し、約30,000人の学生が学んでいる。特に自然科学系分野が優れた総合国立大学。

所在地	81310 UTM Skudai, Johor Darul Takzim		
URL	http://www.utm.my/		
留学期間	7月から最大1学年間	対象	大学院生のみ
言語	マレー語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：7月～11月、2学期：12月～6月）		
協定校留学出願条件	原則としてTOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上		
募集人数	1～2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業毎に定められている履修条件を満たしていること。		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



マレーシア

UNIVERSITI SAINS MALAYSIA

マレーシア科学大学



大学概要

1969年、マレーシアで2番目の大学として創立され、約28,000人の学生が在籍。科学系の分野での教育・研究に熱心に取り組んでいる。

所在地	11800 USM, Pulau Pinang		
URL	http://www.usm.my/en/		
留学期間	7月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	マレー語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：7月～11月、2学期：12月～4月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT61/ITP500以上またはIELTS5.5以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Pharmacy, Medicine, Dentistry は交換留学生の履修不可。英語で行われる授業については参考URLを参照。		
参考URL	http://www.usm.my/io		



マレーシア

UNIVERSITY OF MALAYA

マラヤ大学



大学概要

マレーシア初の大学であり、かつマレーシア最大の総合国立大学。12学部を有し、約25,000人の学生が在籍し、うち留学生は約3,000人。

所在地	50603 Kuala Lumpur		
URL	http://www.um.edu.my/		
留学期間	7月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	マレー語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：7月～11月、2学期：12月～5月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上 ② GPA3.0以上 ③ マレーシア国籍を有していないこと		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Medicine, Law, Dentistry, Pharmacy, Nursing は交換留学生の履修不可。英語で行われる授業については参考URLを参照。		
参考URL	http://www.um.edu.my/index.php → International Students → List of Programmes		



マレーシア

UNIVERSITI MALAYSIA SARAWAK

マレーシア・サラワク大学



大学概要

1992年創立の国内第8番目の大学。生物工学、環境管理学分野が有名だが、芸術学部なども有する総合大学。学生数約7,000人。

所在地	94300 Kota Samarahan, Sarawak		
URL	http://www.unimas.my/		
留学期間	7月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	マレー語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：7月～11月、2学期：12月～4月）		
協定校留学出願条件	原則として TOEFL-iBT75/ITP537以上またはIELTS6.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Medicine, Engineering は交換留学生の履修不可。		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



マレーシア

UNIVERSITI TEKNOLOGI PETRONAS

ペトロナス工科大学



大学概要

1997年にマレーシア国営の石油会社ペトロナス社によって設立された私立大学。理工系の7学部、人文科学系の1学部から成る。約6,000人の学生が在籍し、うち600人が留学生。

所在地	Bandar Seri Iskandar, 31750 Tronoh, Perak		
URL	http://www.utp.edu.my/		
留学期間	5月から9月まで(1学期間)	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制(1学期:1月~5月、2学期:5月~9月)※但し、本学学生が留学できる期間は5月~9月のみ。		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT90 または IELTS6.0 以上 ② GPA3.0 以上 ③ 日本国籍を有していること		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1~2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	授業毎に履修条件が設定されている。		



インド

INDIAN INSTITUTE OF SCIENCE

インド科学院大学



大学概要

1909年に設立された、研究型大学としてインドで最高位にある大学院大学。約40の研究センターにおいて2000人以上の研究者たちが先端科学技術研究について活発な研究を行っている。

所在地	Bangalore 560 012		
URL	http://www.iisc.ernet.in/		
留学期間	8月から1学期間	対象	大学院生のみ(理工学研究科・農学研究科)
学年暦	2学期制(1学期:8月~12月、2学期:1月~4月)		
協定校留学出願条件	原則として TOEFL-iBT75/ITP537 以上		
学部1年生による出願可否	1~2名		
出願条件・授業履修に関する注意事項	①志願者は、希望する学科、教員を同大学ウェブサイトで調べる。受入は各学科により審査・判断される。 ②留学期間は、1学期間のみ。 ③同大学への留学を希望する場合は、速やかに国際教育事務室に相談すること。		
参考URL	http://www.iisc.ernet.in/ircell/internationalstudents-shortterm.html		



タイ

KING MONGKUT'S INSTITUTE OF TECHNOLOGY LADKRABANG

キングモンクット工科大学ラカバン校



大学概要

理工科学を強みとするタイ屈指の理系国立大学。前身は1960年創立のノンタブリ電気通信訓練センター、1971年に現在の大学へと組織変更。工学部はタイ国内でもレベルが高く、チュラロンコン大学に次ぐ。

所在地	Chalongkrung Rd., Ladkrabang, Bangkok 10520, Thailand		
URL	http://www.kmitl.ac.th/en/main.php		
留学期間	6月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制(1学期:6月~10月、2学期:11月~3月)		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT81 以上または IELTS6.0 以上		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1~2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	英語で行われる授業は Software Engineering (学部)のみ。それ以外は全てタイ語で授業が行われる。		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



ベトナム

HANOI UNIVERSITY

ハノイ大学



大学概要

1959年にハノイ外国語大学として設立された、ベトナムでは有数の外国語大学。
11言語を学部教育で展開している。

所在地	Km9, Nguyen Trai Road, Thanh Xuan, Hanoi		
URL	http://www.hanu.vn/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	ベトナム語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	英語で行われる授業は以下のコースのみ。 Business Administration and Marketing, Tourism, Computer Science, International Studies, Accounting and Financing, Banking		



ベトナム

FOREIGN TRADE UNIVERSITY

ハノイ貿易大学



大学概要

1960年に外交・貿易職員の訓練大学として設立。外交官や政治家、その他各界のリーダーを輩出している。

所在地	91 Chua Lang Street, Dong Da District, Ha Noi, Vietnam		
URL	http://en.ftu.edu.vn/		
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	ベトナム語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：1月～6月）		
協定校留学出願条件	TOEFL-iBT79以上またはIELTS6.0以上		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Faculty of Finance and Banking, Economics and International Business, Business Administrationの一部の授業は英語で行われる。それ以外は全てベトナム語で授業が行われる。		



インドネシア

INSTITUT TEKNOLOGI BANDUNG

バンドン工科大学



大学概要

1920年に創立されたインドネシア初の技術系高等教育機関であり、今日ではインドネシアにおける最も優れた理工学大学と評価されている。卒業生は政府、産業界、教育界などで活躍しており、インドネシアの工学系人材供給の大きな要となっている。

所在地	Jl. Tamansari No.64, Bandung 40116	URL	http://www.itb.ac.id/
留学期間	8月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	インドネシア語		
学年暦	2学期制（1学期：8月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	① TOEFL-iBT61/ITP500以上またはIELTS6.0以上 ② GPA3.0以上 ③ インドネシア国籍を有していないこと		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	英語で行われる授業は以下のとおり。また、参考URLで確認すること、Mathematics, Astronomy, Physics, Chemistry, Microbiology, Pharmaceutical Science & Technology, Geology, Meteorology, Oceanography, Geodesy & Geomatics, Mechanical Engineering, Aerospace Engineering, Electrical Engineering, Electrical Power Engineering, Telecommunication Engineering, Information Engineering and System, Informatics Engineering, Informatics, Civil Engineering, Environmental Engineering, Ocean Engineering, Management, Management Sciences		
参考URL	http://www.itb.ac.id/en/education/programs		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



中国

RENMIN UNIVERSITY OF CHINA

中国人民大学



大学概要

1937年に創立された陝北大学を前身とし、1950年に現在の名称となる。中国重点大学の一つであり、特に法学・経済学の分野では国内でトップレベルである。

所在地	59 Zhongguancun Street, Haidian District, Beijing, 100872		
URL	http://www.ruc.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	旧 HSK6 級または新 HSK5 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1名



中国

SHENZHEN UNIVERSITY

深圳大学



大学概要

1983年に創立された国立大学。深圳経済特区唯一の総合大学であり、先進的な教育施設・設備を誇っている。香港と隣接していることもあり、香港の各大学や国外の大学との交流を重視している。

所在地	Nanhai Ave 3688, Shenzhen, Guangdong, 518060		
URL	http://www.szu.edu.cn/szu2007/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY

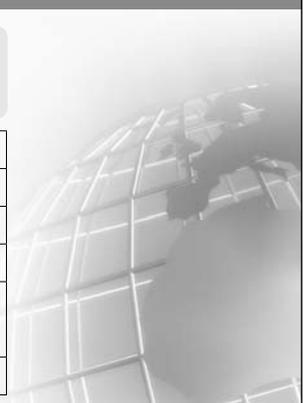
上海交通大学



大学概要

1896年に創立された中国政府直属の国立大学。理工系の分野に強い大学であり、江沢民の出身校としても有名。

所在地	1954 Huashan Road, Shanghai, 20030		
URL	http://www.sjtu.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	①中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②日本国籍以外の学生が申請する場合は、事前に留学先大学に確認する必要があるため、必ず申請前に国際教育事務室窓口に相談すること。		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



中国

THE CENTRAL UNIVERSITY OF FINANCE AND ECONOMICS

中央财经大学



大学概要

1949年に創立された国家重点大学の一つ。経済・商学を中心とした総合大学で、全国的に著名な学者や専門家を多数輩出していることで有名。

所在地	39 South College Road, Haidian District, Beijing, 100081		
URL	http://www.cufe.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	旧 HSK6 級または新 HSK5 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

XIAMEN UNIVERSITY

廈門大学



大学概要

1921年に外来華僑によって創立された総合大学。中国南部の台湾海峡沿いに面しており、一年中暖かい気候に恵まれている。特に海洋学・歴史学のレベルが高い。

所在地	No. 422, South-Siming Road, Xiamen, Fujian 361005		
URL	http://www.xmu.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	旧 HSK6 級または新 HSK5 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

YANBIAN UNIVERSITY

延辺大学



大学概要

吉林省朝鮮族自治州延吉市に位置する1949年創立の総合大学。政府の民族教育方針のもと設立され、民族特色を有し、その研究も盛んである。20,000人の在籍生のうち、世界各国から集まった約500名の留学生が学んでいる。

所在地	NO.977 Gongyuan Road, Yanji City, Jilin Prov		
URL	http://www.ybu.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	①日本国籍を有していること ②中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



中国

EAST CHINA NORMAL UNIVERSITY

華東師範大学



大学概要

上海に位置する 1951 年設立の総合大学。19 ある学部のうち、教育科学学部は中国の大学の中でも最も早く設立された学部である。生徒数は約 50,000 人、2,700 人が留学生。

所在地	3663 Zhongshang Road North, Shanghai 200062		
URL	http://www.ecnu.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

INNER MONGOLIA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

内蒙古工業大学



大学概要

1958年に単科大学として設立されたが、1993年に総合大学として再整備された。工学系が中心ではあるが、工学系のみならず、自然科学、教養学、経済学、マネジメントなどの広い分野での教育を行っている。

所在地	No.49 Aimin Street, Hohhot, Inner Mongolia		
URL	http://www.imut.edu.cn/index.htm		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	①原則として GPA3.0 以上 ②中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

DALIAN UNIVERSITY OF FOREIGN LANGUAGES

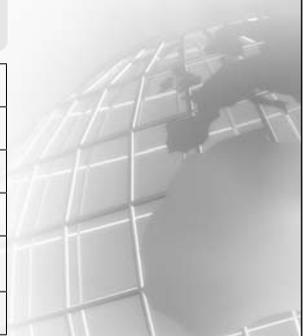
大連外国語学院



大学概要

1964年に日本語専科学校としてスタートした大学で、現在も日本文化・社会・言語教育の中心的な大学である。語学以外にも経済、経営、貿易等の授業を提供している。

所在地	No.94, Yan'an Road, Zhongshan District, Dalian, Liaoning Province		
URL	http://www.dlufi.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：3月～7月）		
協定校留学出願条件	① GPA3.0 以上 ②旧 HSK7 級または新 HSK6 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



中国

LIAONING UNIVERSITY

遼寧大学



大 学 要 概 中国遼寧省瀋陽市の北部に位置する遼寧省で唯一の総合大学。26,000 人余の学生が学び、うち 570 人が留学生。留学生の受入認可を、中国の教育省から最初に受けた大学のうちの一枚で 1965 年より留学生教育を始めている。

所在地	No.66 Chongshan Mid-Road, Huanggu District, Shenyang, Liaoning Province 110036		
URL	http://www.lnu.edu.cn/Idx/index.jsp		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	中国語
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	①中国・香港・台湾籍を有していないこと ②中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

YUNNAN UNIVERSITY

雲南大学



大 学 要 概 人文・社会科学、自然科学、医学などの分野を含め、多くの学部がある。中国政府や雲南省の重要な研究プロジェクトにも関わりを持ち、地方経済の発展にも大きく貢献している。農業やバイオテクノロジー、製薬に関わる企業も設立している。

所在地	No.2 North Cuihu Road, Kunming 650091		
URL	http://www.ynu.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	中国語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	文系：旧 HSK6 級以上または新 HSK5 級以上 理系：旧 HSK4 級または新 HSK4 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

SOOCHOW UNIVERSITY

蘇州大学



大 学 要 概 1900 年に設立された東呉大学（1952 年に江蘇師範学校となる）を前身とし、現在の蘇州大学設立は、江蘇師範学校や蘇州医学院等の4大学が合併した 1982 年である。1995 年に選定された、中国教育部直属の国家「211 工程」（中国全土から 100 校を選定）の重点大学のうちの一枚。また、毎年 1,000 人を超える留学生を受け入れているなど国際交流にも積極的。

所在地	No.1 Shizi Street, Suzhou, 215006 Jiangsu		
URL	http://www.suda.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
		言語	中国語
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～7月）		
協定校留学出願条件	①中国・香港・台湾籍を有していないこと ②旧 HSK6 級または新 HSK5 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名

協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



中国

NANJING UNIVERSITY

南京大学



大学概要

1902年に設立された三江師範学堂を前身とする総合国立大学。鼓楼、浦口、仙林の3キャンパスがあり、25の学院、71の学科を有する。在學生は約28,000人。中国重点大学の中でもトップクラス。

所在地	22 Hankou Road Nanjing Jiangsu 210093		
URL	http://www.nju.edu.cn/cps/site/newweb/foreground/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～2月、2学期：3月～7月）		
協定校留学出願条件	①中国・香港・台湾籍を有していないこと ②旧 HSK6 級または新 HSK5 級以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



中国

PEKING UNIVERSITY

北京大学



大学概要

1898年に創設された京師大学堂を前身とし、中国初の国立総合大学、また当時の中国最高の教育行政機関である。辛亥革命後の1912年に現在の北京大学に改称された。中国国家プロジェクトである211工程の対象校の1つであり政府の国家重点研究拠点も数多く設置されている。清華大学と並んで中国最高峰の教育機関。

所在地	No.5 Yiheyuan Road Haidian District, Beijing		
URL	http://www.pku.edu.cn/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	①中国・香港・台湾籍を有していないこと ②旧 HSK 6 級または新 HSK 5 級以上を有していることが望ましい。ただし、HSKの有無に関わらず留学先大学にて中国語能力試験受験が義務付けられており、その結果によっては本科授業の履修が許可されない場合がある。志願者は事前に国際教育事務室窓口にご相談すること。 ③GPA3.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



香港

CHINESE UNIVERSITY OF HONG KONG

香港中文大学



大学概要

香港で2番目に歴史のある大学。14,000人の学生のうち約1,000人が中国本土から、約1,200人が海外からの学生で、広東語・普通語の他に、英語による授業も非常に充実している。

所在地	Shatin, NT Hong Kong SAR The People's Republic of China		
URL	http://www.cuhk.edu.hk/english/index.html		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語、英語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～12月、2学期：1月～5月）		
協定校留学出願条件	【英語による授業を受講する場合】① TOEFL-iBT71/ITP530以上 ② GPA3.0以上 【中国語による授業を受講する場合】①中国語による講義を受けられる十分な語学能力を有していること ② GPA3.0以上		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	①以下は交換留学生の履修不可。 - Courses offered by Faculty of Medicine; - Courses offered by Faculty of Law - Courses offered by Faculty of Education ②上記以外の履修不可の授業については参考URLを参照のこと。 ③その他授業の履修は、授業毎に定められた条件を満たしていることが必要。また、最終的な履修可否は留学先大学により決定される。 ④中国語・英語いずれによる講義も、講義を理解することができる十分な語学能力が必要。また、最終的な履修可否は留学先大学により決定される。		
参考URL	http://rgsntl.rgs.cuhk.edu.hk/rws_prd_life/re_menu/tg_25012663.asp		

協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



台湾

NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY

国立台湾大学



大学概要

1928年に台北帝国大学として創立され、1945年に現在の名称となる。
台湾で最も古く、最難関の名門大学。
2009年には Times Higher Education の世界大学ランキングで 95 位にランキングされた。

所在地	No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei, 10617		
URL	http://www.ntu.edu.tw/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	①日本国籍を有していること ②中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Continuing Education, Teacher Education Program and Practical Training Course は交換留学生の履修不可。		
参考 URL	http://www.oia.ntu.edu.tw/intstudent/exchange_en.asp		



台湾

NATIONAL FORMOSA UNIVERSITY

国立虎尾科技大学



大学概要

台湾中部雲林県虎尾市に位置する国立の技術大学。
1980年に工業専門学校として開校、2004年に国立虎尾科技大学と改称。
約9,000人の学生が在籍し、理工系学部のみならずマネジメント学部や人文科学部も有する。

所在地	No. 64, Wunhua Road, Huwei Township, Yunlin County 632		
URL	http://www.nfu.edu.tw/main.php		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



台湾

CHINESE CULTURE UNIVERSITY

中国文化大学



大学概要

1962年に創立され、1980年に総合私立大学となる。台北市内北部にある陽明山に位置しており、台北平野や淡水河を一望できる。台湾の中での多彩な学問分野を提供する数少ない大学。
人文科学、農学、工学系の12学部を有し、30,000人以上の学生が在籍する。

所在地	55, Hwa-Kang Road, Yang-Ming-Shan, Taipei, 11114		
URL	http://www.pccu.edu.tw/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



台湾

NATIONAL TAIPEI UNIVERSITY

国立台北大学



大学概要

前身は1949年設立の行政専科学校であり、2000年に総合大学に昇格した。多くの卒業生が、政界、財界、商業界などで活躍し、企業からの同大学卒業生採用希望の声も多い。

所在地	67, Sec. 3, Ming-shen E. Rd., Taipei, 104		
URL	http://www.ntpu.edu.tw/chinese/		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	①原則としてGPA3.0以上 ②中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



台湾

NATIONAL CHIAYI UNIVERSITY

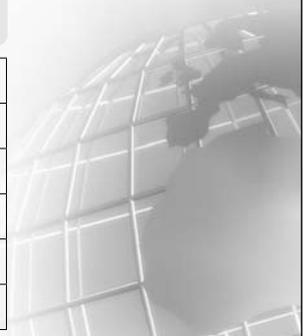
国立嘉義大学



大学概要

国立嘉義技術学院および国立嘉義師範学院を前身とし、2000年に総合大学に昇格した。農学部、生命科学部、人文芸術学部、管理学部などの6学部を有する。

所在地	No.300 Syuefu Rd., Chiayi City 60004		
URL	http://www.ncyu.edu.tw/index.aspx		
留学期間	9月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	中国語		
学年暦	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）		
協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	可	募集人数	1～2名



韓国

KOREA UNIVERSITY

高麗大学



大学概要

1905年創立の普成専門学校を前身とし、1946年に私立の総合大学となる。ソウル大学、延世大学と並んで、韓国屈指の名門大学。

所在地	Anam-dong, Sungbuk-gu, Seoul 136-701		
URL	http://www.korea.ac.kr/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②GPA2.5以上		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	College of Medicine, Nursingは交換留学生履修不可。		
参考URL	http://studyabroad.korea.ac.kr/incoming/index.jsp		



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



韓国

EWHA WOMANS UNIVERSITY

梨花女子大学



大 学 要 概

1887年創立のミッション系女子大学である。韓国の名門大学であり、女子大学としては世界最大の規模を誇る。国際色豊かな大学で世界中の協定校からは女子学生のみならず、男子学生も交換留学生として受け入れている。約20,000人の学生が在籍。

所在地	11-1 Daehyun-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-750		
URL	http://www.ewha.ac.kr/index.html		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②GPA2.5以上 ③男子学生も応募可能		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名
出願条件・授業履修に関する注意事項	Medical School Courses, Music, Education Coursesの一部は交換留学生履修不可。		



韓国

CHUNGBUK NATIONAL UNIVERSITY

国立忠北大学



大 学 要 概

1951年に農業短期大学として設立され、後に国立の総合大学となる。韓国文部省の大学改革プラン「BK21プロジェクト」の対象校となっており、韓国屈指の大学である。在籍者数約18,000人。

所在地	410 Seongbong-ro, Heungdeok-gu, Cheongju Chungbuk 361-763		
URL	http://www.chungbuk.ac.kr/index.jsp		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



韓国

INHA UNIVERSITY

仁荷大学



大 学 要 概

1954年創設の仁荷工科大学を前身とする私立の総合大学。学生交流に力を入れており、短期で開催される韓国語・韓国文化を学ぶ研修は好評を得ている。韓進グループが大学運営に携わっている。

所在地	253 Yonghyun-dong, Nam-gu, Incheon 402-751		
URL	http://www.inha.ac.kr/		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
学年暦	2学期制（1学期：2月～6月、2学期：8月～12月）		
協定校留学出願条件	韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	3名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



韓国

DAEGU UNIVERSITY

大邱大学



大学概要

韓国第3の都市である大邱市に所在する大邱大学は、1946年に韓国社会事業学校として創立された。1957年韓国社会事業大学に昇格した後、1982年に総合大学として認可を受けた。12学部8大学院、学生約20,000人、教職員800人を擁する総合大学。

所在地	Jillyang, Gyeongsan, Gyeongbuk, 712-714		
URL	http://www.daegu.ac.kr/kor/index.asp		
留学期間	2月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：2月～6月、2学期：8月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②日本国籍を有している者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



韓国

SOOKMYUNG WOMEN'S UNIVERSITY

淑明女子大学



大学概要

ソウル市中心に美しいキャンパスを有する韓国の名門女子大学。1906年創立。“Modesty, Wisdom and Justice”の精神のもと韓国の女性教育に貢献をしてきた。在籍者数約15,000人のうち、人文学科日本学専攻で学ぶ学生は一学年50名を超える。

所在地	52 Hyochangwon gil, Yongsan-ku, Seoul 140-742		
URL	http://www.sookmyung.ac.kr/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②男子学生も応募可能 ③英語による授業だけを受講することも可能（その場合、授業を理解できる十分な語学力を有すること。）		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



韓国

GYEONGSANG NATIONAL UNIVERSITY

慶尚大学



大学概要

1948年設立。在籍学生は約25,000人、教職員数800人の大規模国立大学。韓国南部の晋州市に位置し、釜山大学校と並ぶ韓国南部の拠点校として、国家プロジェクト研究が盛んな大学の一つ。理工学系が盛んで、機械工学は韓国国内でもトップクラス。

所在地	900 Gajwa-dong, Jinju, 660-701		
URL	http://www.gsnu.ac.kr/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②GPA2.0以上 ③日本国籍を有している者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



協定校留学出願条件は2010年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。



韓国

DONGDUK WOMEN'S UNIVERSITY

同徳女子大学



大 学 要

1908年に民間資本により設立された東媛女子義塾を母体とする女性私学校。人文学部の中でも、英語教育、日本語教育など言語教育に力を入れ、とくにマルチメディアを利用した言語教育においては韓国国内でも定評がある。在籍者数約 7,500 人。

所在地	23-1 Wolgok-Dong, Sungbuk-Gu, Seoul		
URL	http://www.dongduk.ac.kr/main.jsp		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生、大学院生
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有する者 ②GPA3.0以上 ③男子学生も応募可能		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



韓国

SOGANG UNIVERSITY

西江大学



大 学 要

1960年創立。韓国国内では、トップ大学のSKY（S：ソウル大学、K：高麗大学、Y：延世大学）に次ぐ評価を得ている。また、20年の歴史を持つ独自の韓国語教育プログラムにも定評がある。

所在地	1 Sinsu-dong, Mapo-gu, Seoul 121-742		
URL	http://www.sogang.ac.kr/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	① TOPIK レベル 5 またはそれと同等以上の韓国語能力を有すること ② GPA2.0 以上 ③ 北朝鮮籍を有していない者		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名



韓国

DAEJEON UNIVERSITY

大田大学



大 学 要

1979年創立。1989年に総合大学に昇格した。人文芸術、法学、経営学、工学等の分野を持つ。約 12,000 人の学生が在籍。

所在地	96-3, Yongun-dong, Dong-gu, Daejeon, 300-716		
URL	http://www.dju.ac.kr/		
留学期間	3月から最大1学年間	対象	学部生のみ
言語	韓国語		
学年暦	2学期制（1学期：3月～6月、2学期：9月～12月）		
協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられる十分な語学力を有すること ②韓国籍・北朝鮮籍を有していない者 ③ Medical School は交換留学生の履修不可		
学部1年生による出願可否	不可	募集人数	1～2名

協定校留学出願条件は 2010 年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合がありますので、当該年度に公開される募集要項で最新の条件を確認して下さい。

10

各種語学能力・適性試験について

【英語】

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人々の英語力を測る、世界各国で実施されている英語テストで、米国の非営利教育団体である ETS (Educational Testing Service) が実施している。TOEFL のスコアを協定校留学やその他長期留学の出願条件としている英語圏の大学は多く、留学を希望する人は、行きたい大学が要求しているスコアを満たす必要がある。TOEFL には TOEFL-iBT (Internet Based Testing)、TOEFL-PBT (Paper Based Testing) の2種類あり、現在日本において定期的に受験できるのは TOEFL-iBT のみ。iBT は Speaking、Writing、Listening、Reading の4セクションで構成され、スコアは2年間有効。また、TOEFL-ITP という団体受験のテストもあり、PBT の過去問題で構成される。通常 ITP は公式なスコアとして認められないが、協定校の中には認めている大学もある。TOEFL-iBT の申込は ETS のウェブサイトで登録しておこなう。試験結果は受験日から約2週間後にインターネット上で確認でき、受験日から約1ヵ月後にスコアレポートが郵送される。

参考サイト

ETS : <http://www.ets.org/toefl>
 国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部 TOEFL 事務局 : <http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

TOEIC® (Test of English for International Communication)

概要

TOEFL 同様、アメリカの公益法人 ETS (Educational Testing Service) が実施している英語能力試験だが、その性質は TOEFL と大きく異なる。TOEFL が、受験者が英語圏へ留学する際に、留学先で学業を修める英語力があるかどうかを測るのに対し、TOEIC は身近な内容からビジネスまでどれだけ英語でコミュニケーションできるかを測る。テストは Listening と Reading の2構成。

参考サイト

ETS : <http://www.toeic.or.jp/>

IELTS (International English Language Testing System)

概要

IELTS (International English Language Testing System) は、主にイギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドで英語を母国語としない人々の英語力を審査するために用いられているテストで、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと (財) 日本英語検定協会により共同運営されている。IELTS にはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニングモジュールの2種類があり、大学や大学院等高等教育機関での留学を目指す人は、アカデミック・モジュールを受験する必要がある。試験はリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つから成り、各試験の合計点をもとに、1～9段階のスコアで評価される。スコアは2年間有効。

参考サイト

IELTS : <http://www.ielts.org/> (財) 日本英語検定協会 : <http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>
 British Council : <http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams.htm>

【中国語】

HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi : 漢語水平考試)

概要

日本の文部科学省にあたる中国教育部が認定した、中国語を母国語としない中国語学習者のための国家レベルの中国語能力標準化試験。2010年に試験制度が変わり、旧 HSK ではレベルが 1～11 級に分けられていたが、新 HSK では 1～6 級にレベル分けされている。中国の大学への留学は、一般に旧 HSK6 級または新 HSK 5 級以上を取得していることが求められる。

参考サイト

HSK 中国本部 : <http://www.hsk.org.cn/>

HSK 日本事務局 : <http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm>

【韓国語】

韓国語能力試験

概要

財団法人韓国教育財団が実施する大韓民国政府認定の韓国語能力試験。試験の結果は初級、中級、高級に分けられる。試験分野は語彙、文法、書き取り（作文問題も含む）、聞き取り、解読の 4 つに分かれており、各 100 点満点、合計 400 点満点。

参考サイト

財団法人韓国教育財団 : <http://www.kref.or.jp/>

ハングル能力検定試験

概要

5～1 級に分類される。1 級 1 次試験合格者には後日面接試験が行われる。

参考サイト

ハングル能力検定協会 : <http://www.hangul.or.jp/>

【フランス語】

DELF/DALF

概要

フランス教育省認定フランス語資格試験。DELF (A1・A2・B1・B2)、DALF (C1・C2) の 6 レベルがあり、C1 を取得するとフランスの大学の学部に入學する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。フランス語圏の協定校の中には B1 以上の能力を要求する大学もある。

参考サイト

大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズ : <http://www.delfdalf.jp/>

在日フランス大使館 : <http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?article1829>



TCF(Test de Connaissance du Francais)

概要

フランス教育省が実施するフランス語能力試験。得点により 6 段階のレベルに分けられる。証書は 2 年間有効。

参考サイト

東京日仏学院：<http://www.institut.jp/ja/apprendre/examens>

在日フランス大使館：<http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?article1830>

【ドイツ語】

ゲーテ・インスティトゥートの検定

概要

国際的に通用するドイツ語試験。Start Deutsch 1・2、Zertifikat Deutsch などのレベルがある。中級レベルは B1 ～ B2 に相当する。

参考サイト

ゲーテ・インスティトゥートジャパン：<http://www.goethe.de/ins/jp/tok/lrn/prf/jaindex.htm>

【イタリア語】

CILS イタリア語検定試験

概要

シエナ外国人大学が実施しているイタリア語検定試験。イタリア文化会館を通じて受験可能。

参考サイト

イタリア文化会館：http://www.iictokyo.esteri.it/IIC_Tokyo/

PLIDA イタリア語検定試験

概要

イタリア政府公認のイタリア語検定。初級の A1・A2、中級の B1・B2、上級の C1、そして最上級の C2 の 6 のレベルに分かれる。

参考サイト

ダンテ・アリギエール協会東京支部：<http://www.il-centro.net/dante/plida/page2.html>

【ロシア語】**ТРКИ - テ・エル・カ・イ****概要**

ロシア連邦教育科学省が認定する国家試験。入門レベル、基礎レベル、第一レベル、第二レベル、第三レベル、第四レベルの6段階に分けられている。

参考サイト

日本対外文化協会：<http://www.taibunkyo.com/kentei/kentei.htm>

【その他適正テスト】**GRE[®] (Graduate Record Examinations)****概要**

経営・法学を除く主に北米の大学院進学希望者を対象としたテストで、大学院出願時にスコアを提出する必要がある。一般的な適正を見る General Test (言語・数学・論理) と専門分野 (理系, 英文学) の基礎学力を見る Subject Test の2つで構成される。2011年8月より General Test が改正されるため、受験希望者は実施団体のウェブサイトで詳細を確認すること。

参考サイト

ETS：<http://www.ets.org/portal/site/ets>

GMAT (Graduate Management Admission Test)**概要**

経営大学院 (Business School) の入学に際して要求される。AWA (Analytical Writing Assessment)、Quantitative Section、Verbal Section の3セクションで構成される。

参考サイト

GMAT 公式サイト：<http://www.mba.com/mba>

LSAT (Law School Admission Test)**概要**

ロースクール進学希望者を対象としたテスト。読解力、分析力、文章力を測る。

参考サイト

LSAT 公式サイト：<http://www.lsac.org/JD/LSAT/about-the-LSAT.asp>

11

留学情報機関・ 在日外国文化機関リスト

国・地域	機関名	所在地、ホームページ
留学一般	独立行政法人 日本学生支援機構 留学情報センター	〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1 URL: www.jasso.go.jp/
アメリカ	日米教育委員会教育情報部	〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 207号 URL: www.fulbright.jp
	在日米国大使館	〒107-8420 東京都港区赤坂 1-10-5 URL: tokyo.usembassy.gov/tj-main.html
イギリス	ブリティッシュ・カウンシル	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-2 URL: www.britishcouncil.org/jp/japan.htm
	駐日英国大使館	〒102-8381 東京都千代田区一番町 1 URL: ukinjapan.fco.gov.uk/ja/
オーストラリア	オーストラリア政府教育情報センター	〒108-8361 東京都港区三田 2-1-14 オーストラリア大使館内 URL: www.study.australia.or.jp
	オーストラリア大使館	〒108-8361 東京都港区三田 2-1-14 URL: www.australia.or.jp/
カナダ	カナダ大使館図書館	〒107-8503 東京都港区赤坂 7-3-38 URL: www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/library-bibliotheque/index.aspx?lang=jpn&menu_id=80&menu=L
	カナダ大使館	〒107-8503 東京都港区赤坂 7-3-38 URL: www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/index.aspx?lang=jpn
メキシコ	在日メキシコ合衆国大使館	〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-15-1 URL: www.sre.gob.mx/japon/
中国	中華人民共和国駐日本国大使館	〒106-0046 東京都港区元麻布 3-4-33 URL: www.china-embassy.or.jp
韓国	大韓民国大使館	〒106-8577 東京都港区南麻布 1-2-5 URL: jpn-tokyo.mofat.go.kr/languages/as/jpn-tokyo/main/index.jsp
台湾	台北駐日経済文化代表処	〒108-0071 東京都港区白金台 5-20-2 URL: www.taiwanembassy.org/JP/mp.asp?mp=202
シンガポール	シンガポール共和国大使館	〒106-0032 東京都港区六本木 5-12-3 URL: www.mfa.gov.sg/tokyojpn/
マレーシア	マレーシア大使館	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 20-16 電話: 03-3476-3840
タイ	在京タイ王国大使館	〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-2-1 (建替え期間中の住所。2012年まで) URL: www.thaiembassy.jp/
ベトナム	ベトナム社会主義共和国大使館	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 50-11 URL: www.mofa.gov.vn/vnemb.jp/
インドネシア	インドネシア共和国大使館	〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-2-9 URL: indonesianembassy.jp/

国・地域	機関名	所在地、ホームページ
インド	インド大使館	〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-2-11 URL: www.embassyofindiajapan.org/new/src_JP/home/index.htm
南アフリカ	南アフリカ共和国大使館	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-1-1 オリケン平河町ビル 3・4階 URL: www.sajapan.org/index.htm
フランス	在日フランス大使館	〒106-8514 東京都港区南麻布 4-11-44 URL: www.ambafrance-jp.org/
	東京日仏学院	〒162-8415 東京都新宿区市ヶ谷船河原町 15 URL: www.institut.jp/
	フランス政府留学局日本支局	〒106-8514 東京都港区南麻布 4-11-44 在日フランス大使館内 URL: japon.campusfrance.org/jp/1.html
スウェーデン	スウェーデン大使館	〒106-0032 東京都港区六本木 1-10-3-100 URL: www.swedenabroad.com/Start___4324.aspx
イタリア	イタリア大使館	〒108-8302 東京都港区三田 2-5-4 URL: http://www.ambtokyo.esteri.it/ambasciata_tokyo
オーストリア	オーストリア大使館	〒106-0046 東京都港区元麻布 1-1-20 URL: www.bmeia.gv.at/jp/botschaft/tokio.html
スイス	在日スイス大使館	〒106-8589 東京都港区南麻布 5-9-12 URL: www.eda.admin.ch/eda/ja/home/rebs/asia/vjpn/embjpn.html
ドイツ	ドイツ大使館	〒106-0047 東京都港区南麻布 4-5-10 URL: www.tokyo.diplo.de/Vertretung/tokyo/ja/Startseite.html
	ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所	〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内 URL: tokyo.daad.de/wp/lang/ja/
ロシア	在日ロシア連邦大使館	〒106-0041 東京都港区麻布台 2-1-1 URL: www.russia-emb.jp/
セルビア	セルビア共和国大使館	〒104-0001 東京都品川区北品川 4-7-24 URL: www.serbianembassy.jp/japan/
ルーマニア	ルーマニア大使館	〒106-0031 東京都港区西麻布 3-16-19 URL: http://tokyo.mae.ro/index.php?lang=jp
ブルガリア	駐日ブルガリア共和国大使館	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-36-3 URL: www.mfa.bg/jp/76/
ハンガリー	駐日ハンガリー共和国大使館	〒108-0073 東京都港区三田 2-17-14 URL: www.mfa.gov.hu/kulkepviselet/JP/jp/
ポーランド	駐日ポーランド共和国大使館	〒153-0062 東京都目黒区三田 2-13-5 URL: www.tokio.polemb.net/
トルコ	駐日トルコ共和国大使館	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-33-6 URL: tokyo.be.mfa.gov.tr/default.aspx

12

留学に関する学則（抜粋）

明治大学学則（抜粋）

第19条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（学部）（抜粋）

第28条の2 外国の大学において授業科目を履修しようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。

- 2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認める場合は、引き続き1年に限り、留学期間の延長を許可することができる。
- 3 留学期間は、在学年数に算入する。
- 4 留学によって修得した単位は、当該学部教授会の議を経て、30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位として認定することができる。
- 5 その他留学に関する事項は、別に定める。

（大学院）（抜粋）

第30条の2 本大学院は、教育上有益と認めるときは、研究科委員会の議を経て、学生が本大学院に入学する前に大学院において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第43条の4 外国の大学院、それに準ずる高等教育機関又は研究機関（以下「外国の大学院等」という。）において授業科目を履修し、又は研究指導を受けようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。

- 2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認めた場合は、引き続き1年に限り留学期間の延長を許可することができる。
- 3 留学期間は、在学年数に算入する。
- 4 留学によって修得した単位又は教授された研究指導は、研究科委員会の議を経て、本大学院の課程修了の要件である単位又は研究指導として認定することができる。
- 5 前項によって認定できる単位数は、第30条の2第1項の規定により本大学院において修得したものとみなす単位数（入学する前に本大学院において修得した単位を除く。）と合わせて10単位以内とする。
- 6 その他留学に関する事項は、別に定める。

（法科大学院）（抜粋）

第14条 本法科大学院は、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が他の法科大学院又は大学院において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本法科大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

第15条 本法科大学院は、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学生が本法科大学院に入学する前に法科大学院（本法科大学院を含む。）又は大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本法科大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなすことができる単位数は、本法科大学院において修得した単位以外のものについては、前条により本法科大学院において修得したものとみなすことができる単位数と合わせて30単位を超えないものとする。

第16条 法学既修者については、教授会の議を経て、本法科大学院における特定の授業科目について、既に単位を修得したものとみなすことができる。

第32条 外国の法科大学院若しくは大学院又はそれに準ずる高等教育機関において授業科目を履修しようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。

- 2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認めた場合は、引き続き1年に限り留学期間の延長を許可することができる。
- 3 留学期間は、在学年数に算入する。

- 4 留学によって修得した単位は、教授会の議を経て、本法科大学院の課程修了の要件である単位として認定することができる。
- 5 前項により認定することができる単位数は、第14条、第15条第1項及び第16条第1項により本法科大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
- 6 前各項のほか、留学に関する事項は、別に定める。

(専門職大学院) (抜粋)

- 第26条 本専門職大学院は、教育上有益と認めるときは、当該研究科教授会の議を経て、学生が他の専門職大学院又は大学院において履修した授業科目について修得した単位を、課程修了の要件として定める単位数の2分の1に相当する単位の範囲で本専門職大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 第27条 本専門職大学院は、教育上有益と認めるときは、当該研究科教授会の議を経て、学生が本専門職大学院に入学する前に専門職大学院（本専門職大学院を含む。）又は大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本専門職大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 第43条 外国の専門職大学院若しくは大学院又はそれに準ずる高等教育機関において授業科目を履修しようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。
- 2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認められた場合は、引き続き1年に限り留学期間の延長を許可することができる。
 - 3 留学期間は、在学年数に算入する。
 - 4 留学によって修得した単位は、当該研究科教授会の議を経て、本専門職大学院の課程修了の要件である単位として認定することができる。
 - 5 前項により認定することができる単位数は、第26条及び第27条第1項により本専門職大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて、課程修了の要件として定める単位数の2分の1に相当する単位を超えないものとする。
 - 6 前各項のほか、留学に関する事項は、別に定める。

明治大学学生外国留学に関する規程 (抜粋)

(趣旨)

- 第1条 この規程は、明治大学学則（以下「学則」という。）第28条の2第5項、明治大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第43条の4第6項、明治大学法科大学院学則

（以下「法科大学院学則」という。）第32条第6項及び明治大学専門職大学院学則（以下「専門職大学院学則」という。）第43条第6項の規定に基づき、学生の外国留学（以下「留学」という。）について必要な事項を定める。

(定義)

- 第2条 この規程での留学とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。
- (1) 明治大学（大学院を含む。以下「本大学」という。）と外国の高等教育機関又は研究機関（以下「高等教育機関等」という。）との協定に基づき留学するもの。
 - (2) 前号によらない留学で、教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）の議を経て学長が特に認めるもの。
- 2 前項第1号による留学を協定校留学といい、第2号による留学を認定校留学という。

(留学対象機関)

- 第3条 学生が留学できる外国の高等教育機関等は、次の各号のいずれかに該当するものとする。
- (1) 学士号又は学位の授与権を有する高等教育機関等
 - (2) 教授会等が前号に準ずるものと認定した高等教育機関等

(出願資格)

- 第4条 学部学生は、本大学に1年以上在学し、所属学部教授会の定める留学許可に必要な単位数を修得していなければならない。
- 2 大学院学生は、指導教員（法科大学院の学生及び指導教員のいない専門職大学院の学生については専攻主任とする。以下同じ。）の許可を得なければならない。

(出願手続)

- 第5条 留学を願ひ出る者は、次の各号に掲げるものを所属学部長又は研究科長（以下「学部長等」という。）に提出しなければならない。
- (1) 留学願
 - (2) 履修（研究）計画書
 - (3) 留学予定の高等教育機関等の入学許可書又は受入許可書
 - (4) 留学予定の高等教育機関等の便覧、講義要項又はそれに準ずるもの
 - (5) 留学に係わる資金計画書
 - (6) その他学部長等の指定するもの
- 2 前項各号に定めるもののほか、学部学生については語学能力証明書、保証人の留学同意書及び成績証明書、大学院学生については、指導教員の推薦書を提出しなければならない。



(履修科目の許可)

第6条 留学を許可された学生は、留学予定の高等教育機関等において履修しようとする授業科目について、事前に教授会等の許可を得るものとする。

(帰国報告)

第7条 留学を終了し、帰国した学生は、次の各号に掲げるものを遅滞なく学部長等に提出しなければならない。

- (1) 帰国報告届
- (2) 単位（研究指導）認定願
- (3) 留学した高等教育機関等の成績証明書又はそれに準ずるもの
- (4) 留学した高等教育機関等の履修科目の時間数及び単位数を証明する書類
- (5) その他学部長等があらかじめ提出を指定した書類

(単位等の認定)

第8条 教授会等は、学生が留学によって修得した単位の全部又は一部を、学則第28条の2第4項、大学院学則第43条の4第4項、法科大学院学則第32条第4項又は専門職大学院学則第43条第4項によって、本大学所定の単位として認定することができる。

- 2 修得単位の認定は、前条の提出書類によるほか、面接試験又は筆記試験によって行うことができる。
- 3 修得単位は、原則として学則第19条、大学院学則第23条第4項及び専門職大学院学則第25条第3項に基づき、本大学所定の単位数に換算することができる。
- 4 研究指導の認定は、留学した高等教育機関等の担当者が発行する研究指導経過報告書によって行う。

(授業科目履修の特例)

第9条 学生が学年暦の国際的差異によって本大学の通年の授業科目を履修することに支障がある場合、当該授業科目の出国年度の前期における履修と帰国年度の後期における履修を継続し、通年で履修したものとすることができる。

- 2 前項に定める継続履修をしようとする者は、授業科目の継続履修願を事前に学部長等に提出しなければならない。
- 3 第1項の継続履修ができない場合は、教授会等がその措置を決定する。

(助成)

第10条 留学する者には、所要経費の一部を給付することができる。

- 2 前項の給付に関する事項は、国際教育センター委員会（以下「委員会」という。）の議を経て本大学が定める。

(留学許可の取消し)

第11条 留学生としての在留資格を喪失した者又は学則第66条、大学院学則第62条、法科大学院学則第50条若しくは専門職大学院学則第65条に該当する者については、教授会等の議を経て留学許可を取り消すことがある。

(学生交流協定)

第12条 第2条第1項第1号に定める留学については、この規程によるもののほか、本大学と外国の高等教育機関等が締結した学生交流協定によるものとする。

- 2 前項の協定に関する事項は、委員会が処理する。